SONY

4-095-124-**04** (1)

“GO−NET a” 対応エアボード

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書とエアボード本体の取扱説明書に記載されている「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

IDT-LF2

目次

囲碁を楽しむための準備

対局

文字入力

その他の楽しみかた

その他

商標などについて

- JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
-

intentはTao Group Limited.の登録商標です。
- “メモリースティック”、、“メモリースティックデュオ”、LocationFreeはソニー株式会社の登録商標です。
- ATOKは株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。
- 本製品は、RSA Security Inc.よりライセンスされたコードを搭載しています。

囲碁を楽しむための準備

ここでは、付属の**“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”専用“メモリースティック”**で囲碁をお楽しみいただくために必要な準備について説明します。
エアボード本体で、テレビ・インターネット・メールの機能をご使用になるために、すでに接続や設定を行っている場合、『“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”の画面を表示させる』と「会員情報を設定する」以外は必要ありません。

“ＧＯ－ＮＥＴ ａ ”専用“ メモリースティック ”で囲碁を楽しむ前に、次の手順に従って接続と設定をしましょう。
終了したらチェック欄にチェックしていきましょう。

ステップ 1

囲碁をするための準備をしましょう

チェック

① 付属品を確かめる（☞ 7ページ） □
② 回線をつなぐ（☞ 10ページ） □
③ 電源を入れる（☞ 13ページ） □
④ 日時を設定する（☞ 19ページ） □

ステップ 2

回線の設定をしましょう

チェック

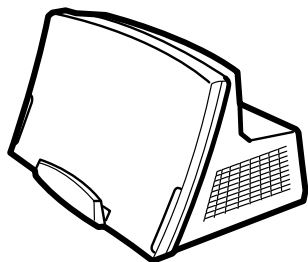
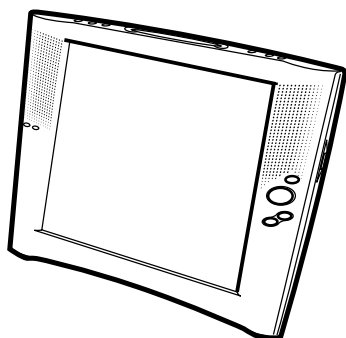
① 回線の設定（☞ 20ページ） □
② 会員情報の設定（☞ 25ページ） □

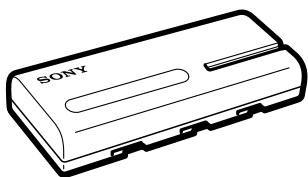
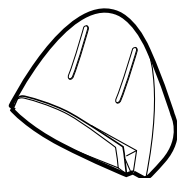
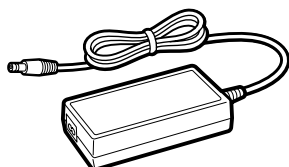
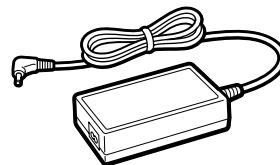
ステップ 3

囲碁をお楽しみください！（☞ 30ページ）

“ GO－NET a ” に必要な付属品

本機に付属の以下の物がそろっているか確認してください。
（　）内は個数を表わします。

● **ベースステーション**（1）

● **モニター**（1）

● **タッチペン**（1）

● **バッテリー** BP-AB1（1）

● **クレードル**（1）

● **ベースステーション用 ACパワーアダプター** AC-LF3（1）

● **クレードル用ACパワーアダプター** AC-LF1B（1）

● **電源コード**（2）

● **“ GO－NET a ”専用“ メモリースティック ”**（1）

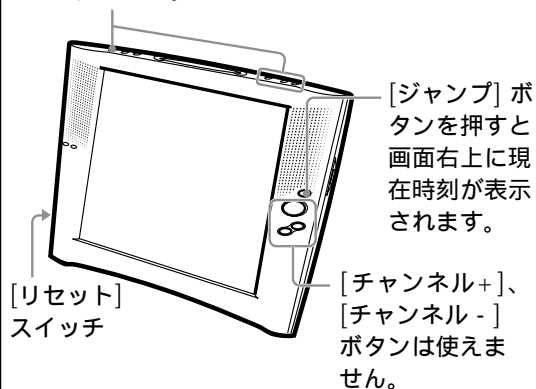
ご注意

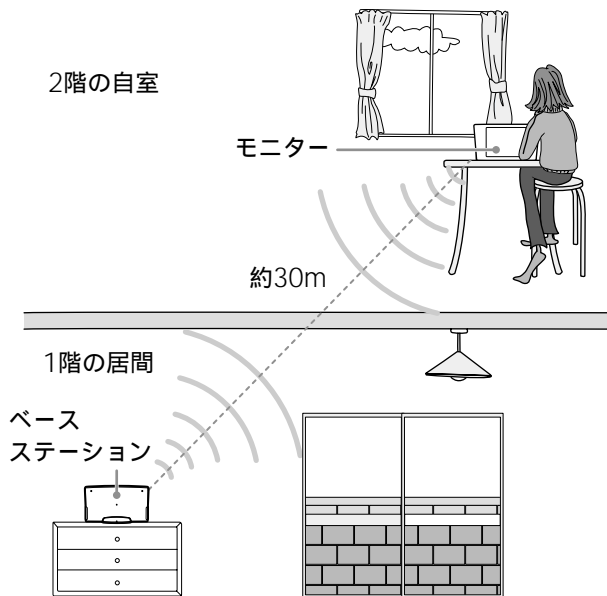
“ GO－NET a ”専用“ メモリースティック ”をエアボード本体やデジタルカメラなど他の機器で初期化すると、“ GO－NET a ”に必要なデータがすべて消去されますのでご注意ください。

「対局棋譜の再現メニュー」、「観戦棋譜の再現メニュー」で“ GO－NET a ”専用“ メモリースティック ”の初期化はできません。

● **“ GO－NET a ”対応エアボード取扱説明書**（1）

“ GO－NET a ”で使えるボタンについて

[電源]、[消音]、[音量+]、[音量－]ボタンおよび [ジャンプ] ボタン、[リセット] スイッチが使えます。

ベースステーションとモニターの働き

本機はモニターとベースステーションで構成されています。
モニターとベースステーションは、ワイヤレス無線通信で互いに情報をやりとりしています。そのため、家の中などベースステーションから約30m以内の通信範囲なら、モニターだけを持ち歩いて、手軽にエアボードで囲碁を楽しめます。また、付属のクレードルをよく使う場所に置いておけば、モニターを使いながらバッテリーを充電できるので便利です。

通信レベルについて

モニターとベースステーションの通信レベルが、良好な状態から順に 、 、 、 圏外 とモニター画面上部に表示されます。使用環境によっては、通信範囲内でも通信状態が悪くなったり、圏外 表示が出て通信できなくなることがあります。

ご注意

ワイヤレス通信に関するご注意

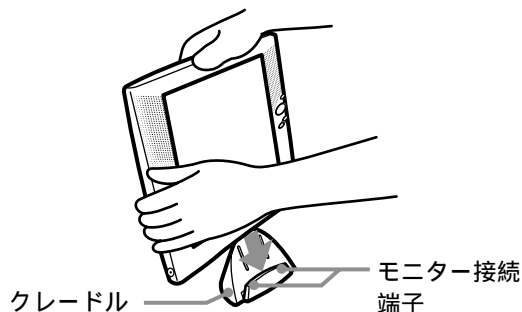
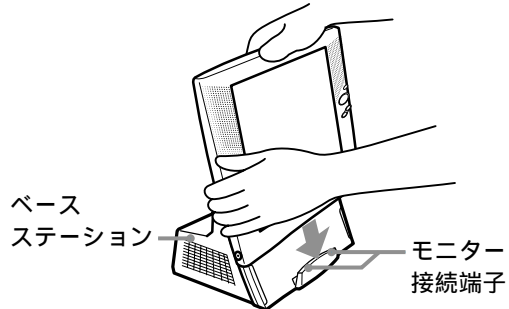
- 電子レンジ使用中は、本機のワイヤレス通信が電子レンジの発する電波の干渉を受け、通信レベルが弱くなることがあります。電子レンジから離れた場所で本機を使用してください。電子レンジを使用していないときは、本機は干渉を受けません。
- ベースステーションは、床から離れた安定した場所に設置してください。
- 対局中の通信エラー（通信レベルの悪化による 圏外 など）で対局が中断したときは、中断碁の再局で対局を再開してください。（☞ 38ページ）

次のような環境で使用すると、ベースステーションとモニターとの間で電波が通りにくくなり、通信距離が短くなることがあります。

- 鉄筋／コンクリート／石の壁や床
- 鉄製の間仕切りやドア
- 床暖房の入った床
- 防火ガラス
- 金属などの材料を使った家具や電化製品などがベースステーションとモニターの間にある場合

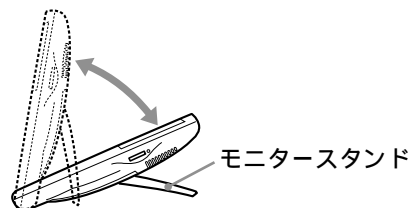
モニターの使いかた

モニターの置きかた

ベースステーションやクレードルのモニター接続端子部に、モニターを置きます。

モニターの取り外しかた

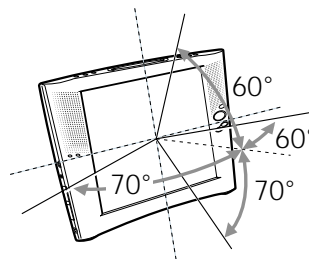
モニター裏面上部の手がけ部を持って、ベースステーションやクレードルから外します。

モニターを単独で使うには

モニターの角度を調整し、使いやすい位置にしてください。

ご注意

モニタースタンドを引き出すときは、つめを引っかけないようにご注意ください。

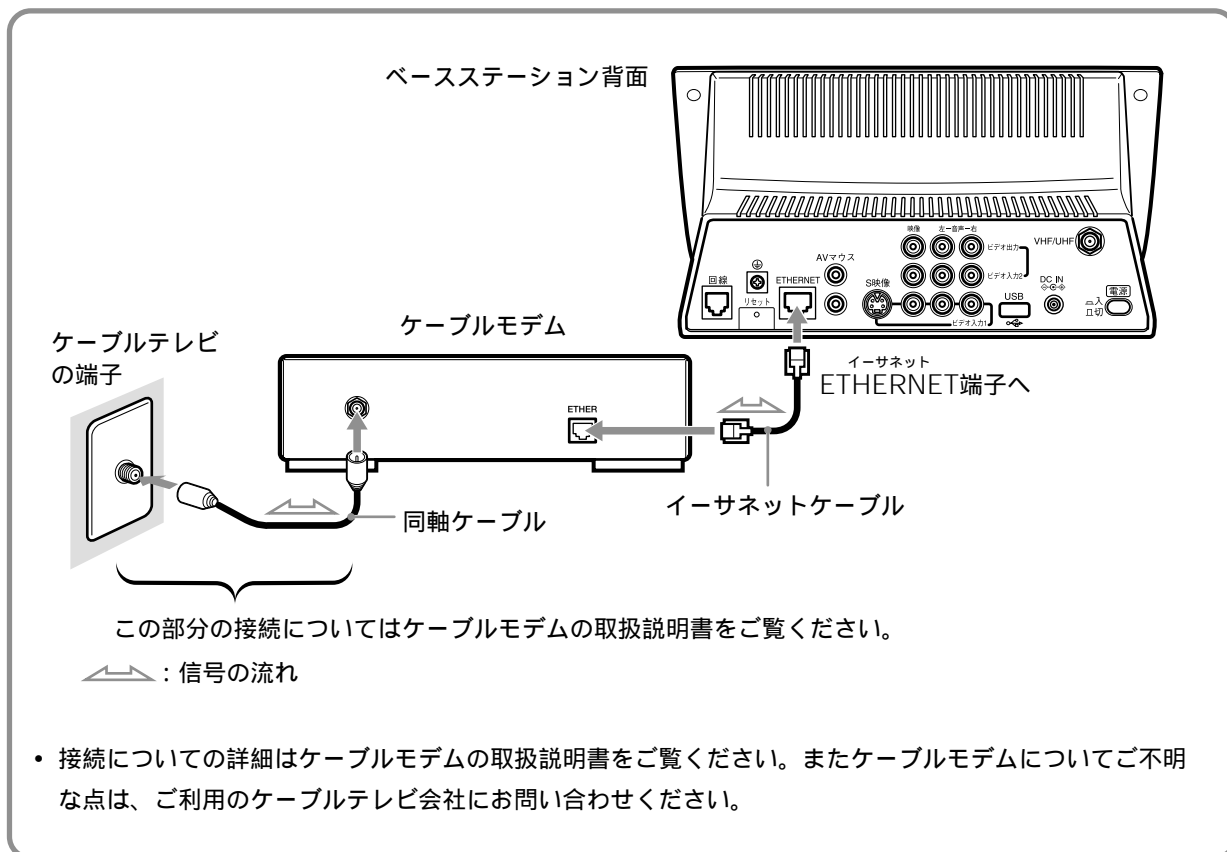
適視角度について

モニターは真正面より左右70度以内、上下60度以内でご覧ください。

回線をつなぐ

“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”で対局を楽しむには、インターネットの回線事業者やプロバイダと契約し、本機をインターネット用の回線につなぐ必要があります。
本機で使えるインターネット用の回線は、ケーブルインターネット、ADSL回線を使った接続、ISDN回線のデジタル接続などがあります。アナログ電話回線やISDN回線を使ったアナログ接続ではエアボードで“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”のサービスは利用できませんのでご注意ください。

ここでは、本機をインターネットに接続する方法を簡単に説明します。
それぞれのインターネット用回線の詳しい説明は、エアボード本体の取扱説明書の37ページ～46ページをご覧ください。

ケーブルインターネットに接続する

- 接続についての詳細はケーブルモデムの取扱説明書をご覧ください。またケーブルモデムについてご不明な点は、ご利用のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

ご注意

イーサネットケーブルにはストレートケーブルとクロスケーブルの2種類があります。使用するケーブルの種類については、それぞれの接続方法に応じてケーブルモデムやADSLモデム、ISDN対応ルーターの取扱説明書をご覧ください。

ADSL回線に接続する

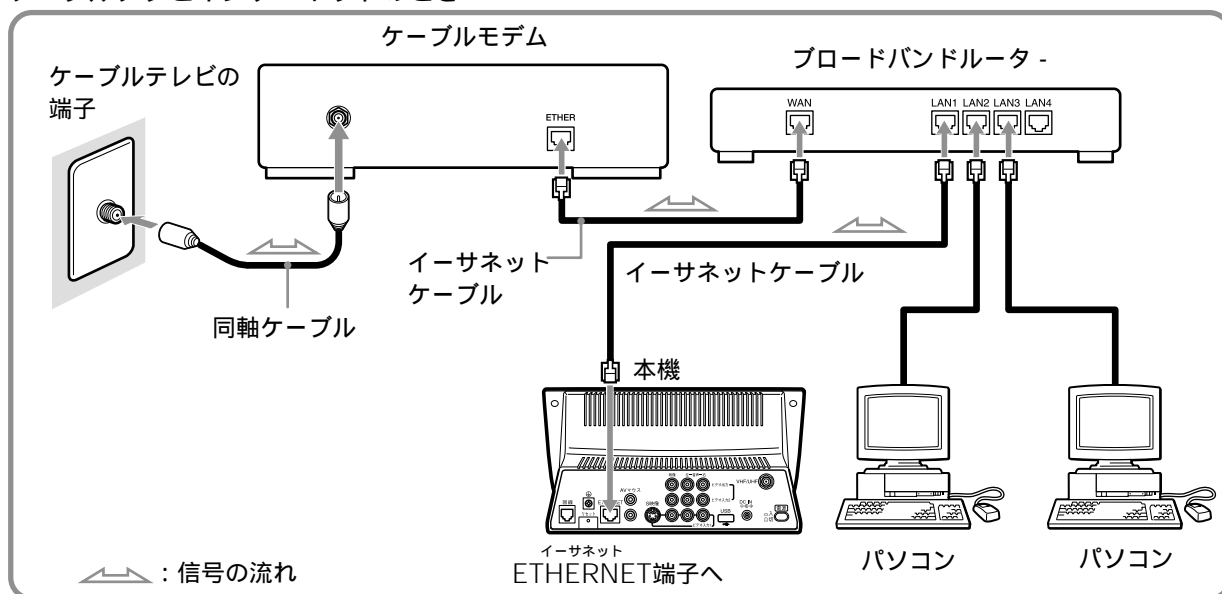
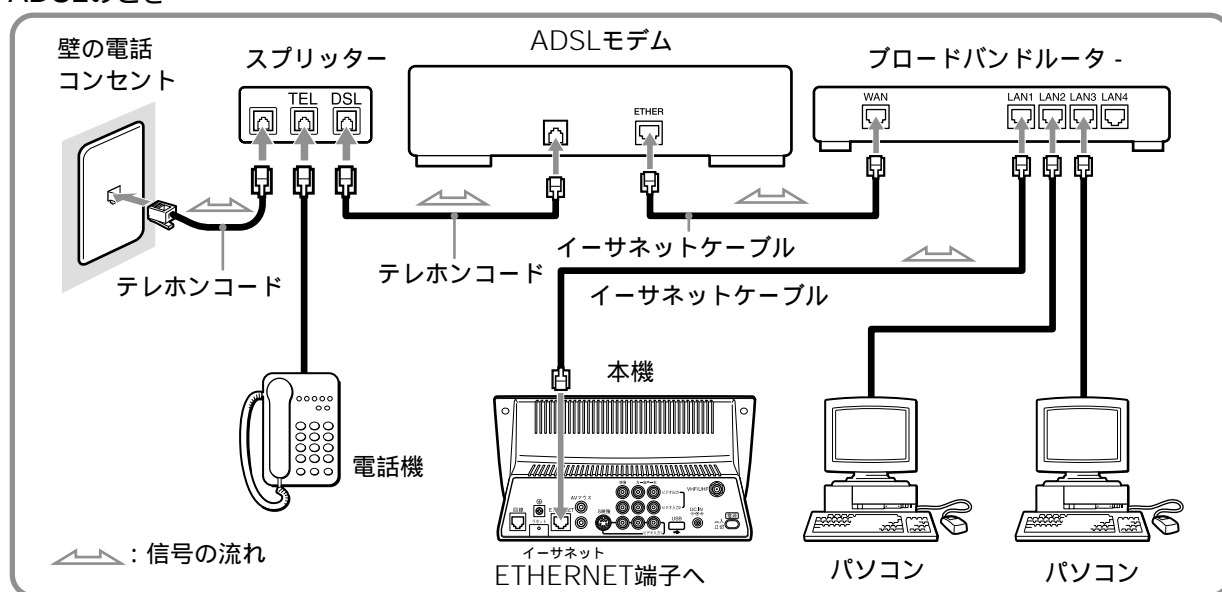
- 接続についての詳細はADSLモデムの取扱説明書をご覧ください。また、ADSLモデムについてご不明な点は、ご利用のADSL回線事業者またはプロバイダにお問い合わせください。
- 本機とUSBで接続するADSLモデムには対応していません。

ISDN回線を使ってデジタル接続する

- フレッツISDNをご利用の場合は、フレッツISDN対応のダイヤルアップルーターをご使用ください。
  ISDN対応ルーターやダイアルアップルーターについて詳しくは、ご使用の機器の取扱説明書をご覧ください。

ブロードバンドルーターを使って接続する

1つの回線で、本機とパソコンなど複数の端末を利用するときは、ブロードバンドルーターを使用します。

ケーブルテレビインターネットのとき

ADSL**のとき**

ブロードバンドルーターやISDN対応ルーター本体の設定のしかた

- ブロードバンドルーターの説明書の中で「wwwブラウザ（インターネットエクスプローラやネットスケープナビゲーター）を使って設定画面を表示する」よう指示があった場合、エアボード本体のインターネットチャンネルを使って表示させます。ルーターのIPアドレスをインターネットチャンネルのアドレス欄に入力して設定画面を表示させてください。

ご注意

- ブロードバンドルーターを使用する場合は、エアボード本体の取扱説明書の51ページおよび、お使いのブロードバンドルーターの取扱説明書をご覧ください。
- 契約によっては、エアボードやパソコンなどの端末を複数台接続できないことがあります。ご利用のケーブルテレビ会社やADSL事業者、プロバイダにご確認ください。

電源を入れる

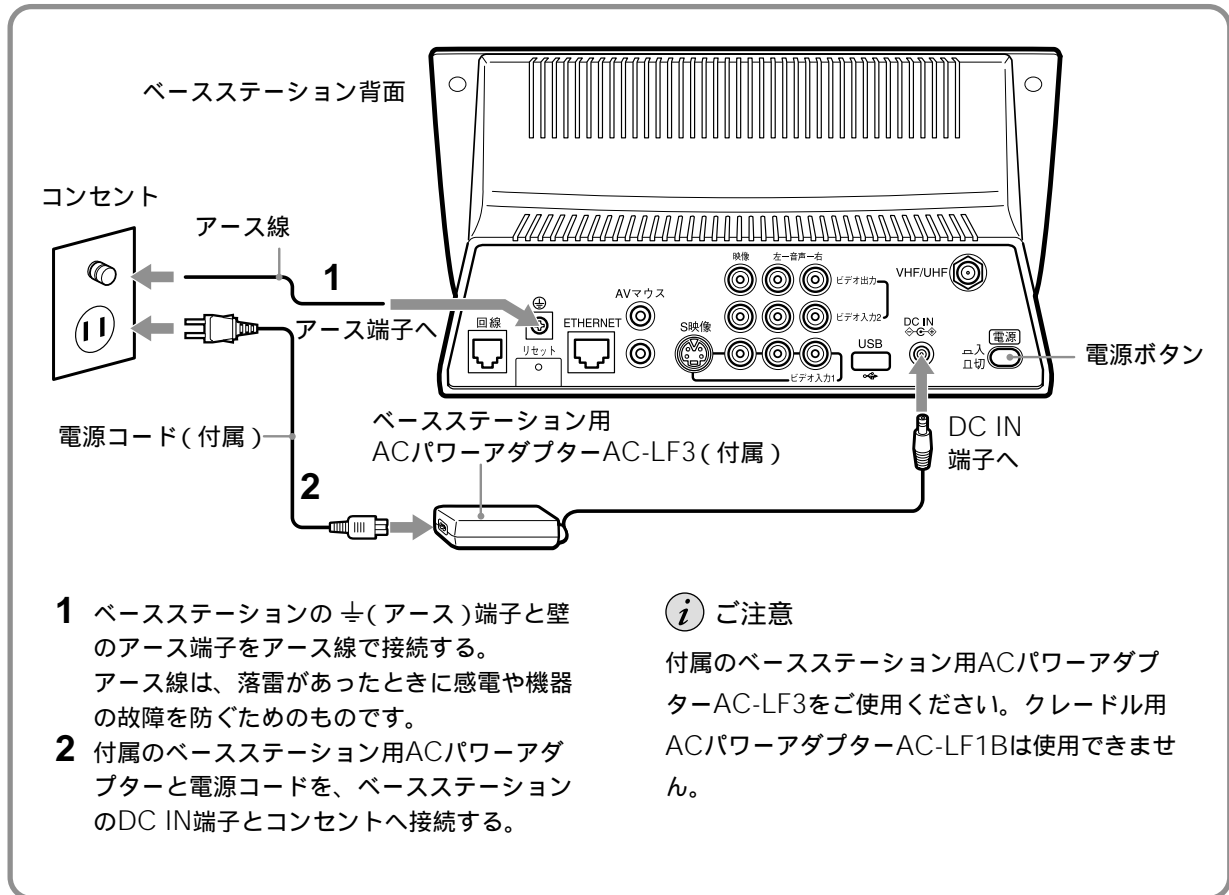
電源コードをつなぐ

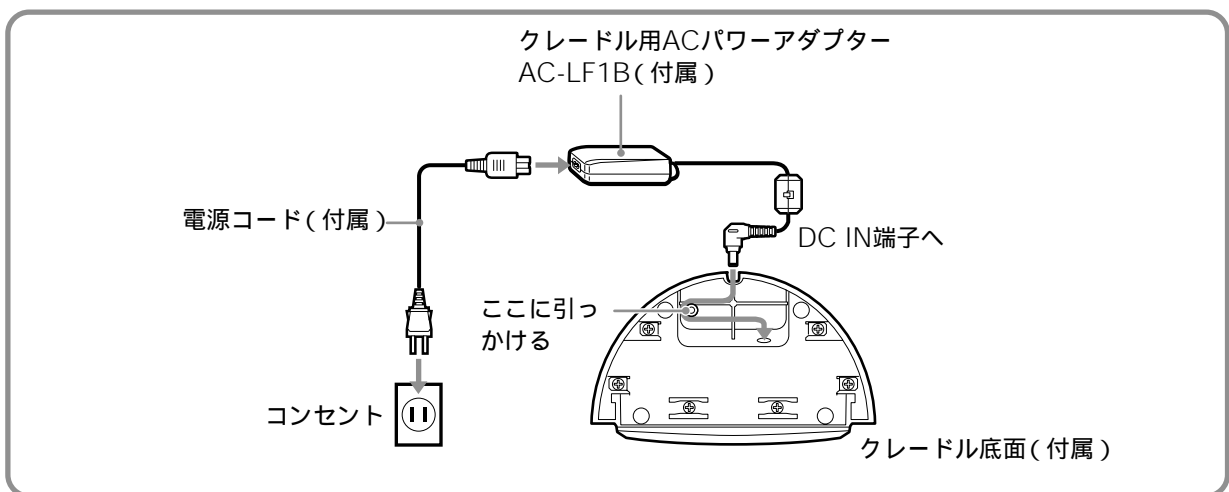
すべての接続が終わってから、電源コードをコンセントにつなぎます。

1 ベースステーションの ⏚（アース）端子と壁のアース端子をアース線で接続する。
アース線は、落雷があったときに感電や機器の故障を防ぐためのものです。

2 付属のベースステーション用ACパワーアダプターと電源コードを、ベースステーションのDC IN端子とコンセントへ接続する。

ご注意

付属のベースステーション用ACパワーアダプターAC-LF3をご使用ください。クレードル用ACパワーアダプターAC-LF1Bは使用できません。

クレードルに電源コードをつなぐ

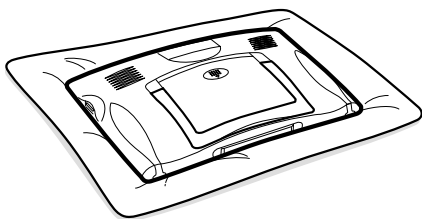
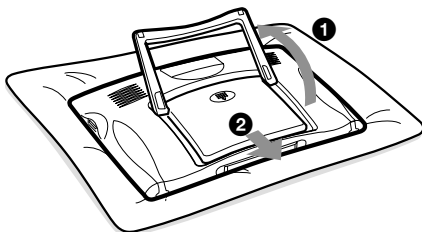
付属のクレードルを使うとベースステーションから離れた場所でも充電しながらモニターが使えます。

ちょっと一言

付属のクレードル用ACパワーアダプターを直接モニターにつないで使うことができます。接続のしかたは、「クレードル用ACパワーアダプターを使ってバッテリーを充電するには」（☞ 15ページ）と同じです。

モニターにバッテリーを取り付ける

ご注意

付属または別売りのバッテリーBP-AB1を必ず使ってください。別売りのエアボード（IDT-LF1/LF1E）用リチャージャブルバッテリーパックBP-LF1、BP-LF2は使用できません。

1 モニターを柔らかい布の上に、液晶画面を下にして置く。

2 モニタースタンドを図のところまで引き上げ（❶）、バッテリー収納部のふたを取り外す（❷）。

3 バッテリー収納部の左端に合わせながらバッテリーを入れ、右にずらす。

ご注意

バッテリーを取り付けるときは、必ずバッテリー収納部の左端に合わせてから右にずらしてください。無理に取り付けるとバッテリー収納部のツメが折れる場合があります。

4 バッテリー収納部のふたを戻す。

モニターのバッテリーを充電する

付属のクレードルを使ってバッテリーを充電するには

モニターを付属のクレードルに置きます。
自動的にバッテリーが充電され、モニター左側にある ▭（充電）ランプが赤く点灯します。充電が終わると緑色に点灯します。
充電中もモニターは使えます。

ベースステーションを使ってバッテリーを充電するには

モニターをベースステーションに置きます。
自動的にバッテリーが充電され、モニター左側にある ▭（充電）ランプが赤く点灯します。充電が終わると緑色に点灯します。

ご注意

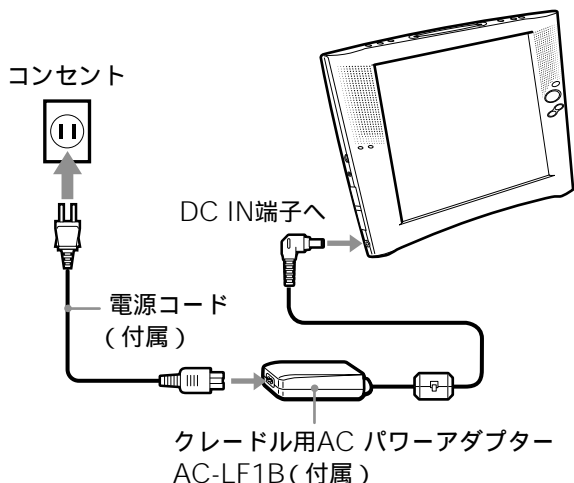
ベースステーションではモニターを使いながらの充電はできません。

充電しながらモニターを使うときは、クレードルまたはクレードル用ACパワーアダプターをご使用ください。

ちょっと一言

モニターをクレードルやベースステーションに置いて使う場合、バッテリーが取り付けられていなくても使えます。モニターをクレードルやベースステーションに常に置いて使うときは、バッテリーを取り外すことをおすすめします。この方法を使うとバッテリーが長持ちします。

クレードル用ACパワーアダプターを使ってバッテリーを充電するには

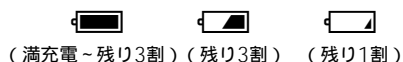
付属のクレードル用AC パワーアダプターを直接モニターにつないでバッテリーを充電することもできます。充電中もモニターは使えます。

ご注意

別売りのエアボード（IDT-LF1/LF1E）のモニター用ACパワーアダプターAC-LF1Mは使えません。

バッテリー充電時間一覧表

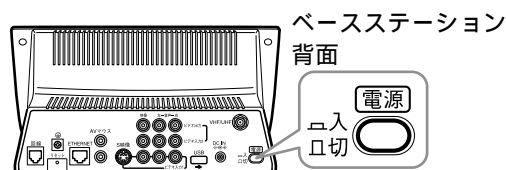
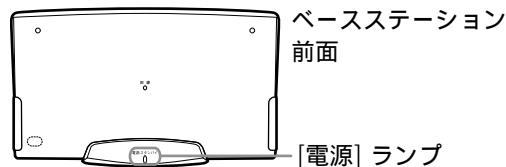
充電方法	モニター電源入	モニター電源切
クレードルを使う	約7時間	約4.5時間
ベースステーションを使う	できません	約4.5時間
クレードル用ACアダプターを使う	約7時間	約4.5時間

バッテリー使用可能時間

付属のバッテリーは、満充電状態でバックライトの明るさが最小のときに約2時間、中のときに約1.5時間、最大のときに約1時間使用できます。
いずれの場合も、バッテリーが切れるおよそ1～15分前に画面にお知らせが出ます。
また、画面右上にバッテリー残量が表示されます。

ご注意

- バッテリーを長時間使用しないときは、本機で使い切ってから、取り外して保存してください。また、1年に1回程度は満充電にして、本機で使い切ってから、再び涼しい場所で保存してください。
- 本機のバッテリーは消耗品です。バッテリーにはリチウムイオンバッテリーを採用しています。リチウムイオンバッテリーは通常のバッテリーと同様、充電と放電を繰り返すことで容量が次第に減っていく特性があります。バッテリーを使用できる時間が大幅に短くなった場合は、バッテリーの寿命です（充電放電300回程度が目安）。新しいバッテリーをお買い求めください。

電源を入れる

ベースステーション背面にある［電源］ボタンを押して電源を入れる。

ベースステーション前面の［電源］ランプが緑色に点灯します。

モニターの電源は、“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”専用“メモリースティック”を本機に挿入してから入れてください。
電源を入れてから“メモリースティック”を挿入すると、“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”が立ち上がりません。モニターの電源については、『“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”の画面を表示させる」（☞16ページ）をご覧ください。

“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”の画面を表示させる

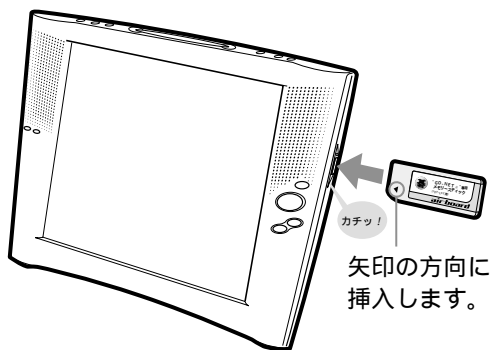
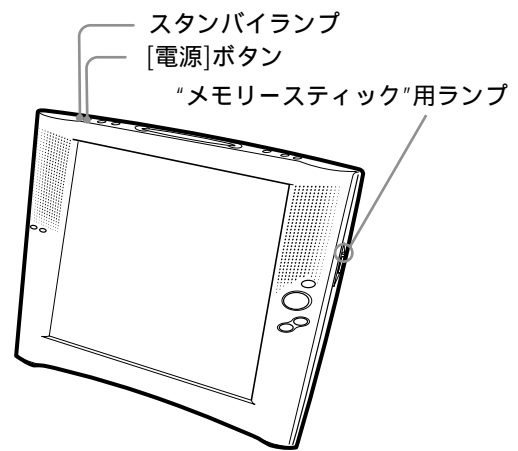
“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”専用“メモリースティック”を本機に挿入した状態で電源を入れると、モニターに“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”のメニュー画面が表示されます。この画面から、囲碁ネットワークに接続して対局を開始したり、設定を行うことができます。

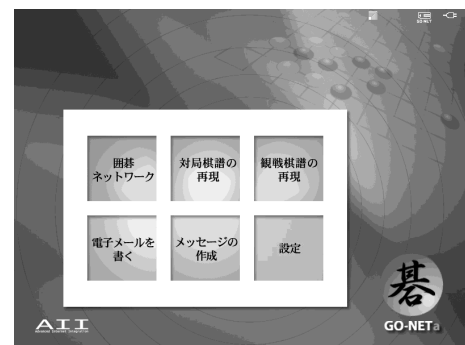
ご注意

モニターの電源を入れた状態で“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”専用“メモリースティック”を挿入すると、“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”を使用することはできません。

1 “ＧＯ－ＮＥＴ ａ”専用“メモリースティック”をメモリースティックスロットに挿入する。

“メモリースティック”は電源を入れる前に必ず挿入してください。

カチッと音がするまで一気に入れてください。

2 モニター上部にある[電源] ボタンを押して、電源を入れる。

モニター上部のスタンバイランプが緑色に点灯します。“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”の画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

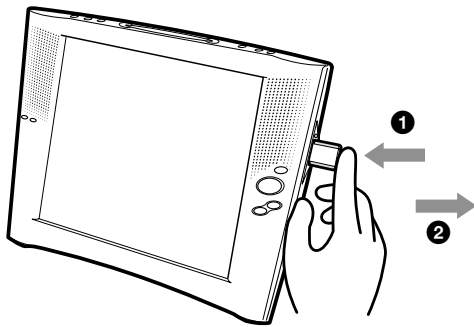
モニターに“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”のメニュー画面が表示されます。

ご注意

モニターの [電源] ボタンを押したときモニター画面上部に 圏外 表示が出るときは、ベースステーションの電源が切れていないか確認してください。

電源を切るには

[電源] ボタンを押す。

“ メモリースティック ”を取り出すには

“ メモリースティック ”を軽くモニター側に押してから、指を添えたまま取り出します。

本機に“ ＧＯ−ＮＥＴ ａ ”専用“ メモリースティック ”を入れているときは画面右上に GO·NET が表示されます。通常の“ メモリースティック ”を入れたときは が表示されます。

ご注意

“ メモリースティック ”用ランプが赤く点灯しているときは、本機と“ メモリースティック ”の間で情報のやりとりをしています。ランプ点灯中は“ メモリースティック ”を抜かないでください。

ちょっと一言

本機で“ ＧＯ−ＮＥＴ ａ ”以外の機能を使用するときは、“ ＧＯ−ＮＥＴ ａ ”専用“ メモリースティック ”を本機から抜き、電源を入れ直してください。

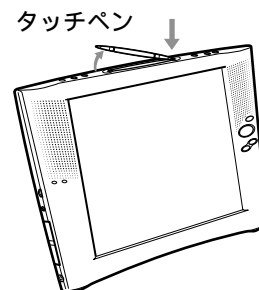
タッチペンの位置を調整する

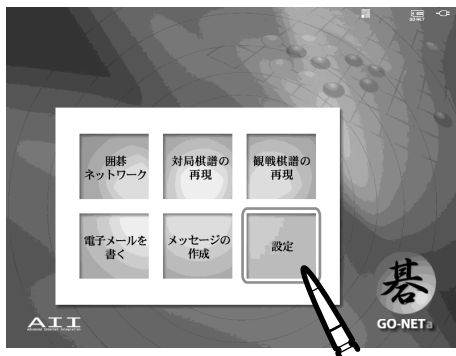
本機は、付属のタッチペンや指で画面に直接軽く触れて、簡単に操作できます。
そのため、タッチペンで選ぼうとしている画面上の位置と、タッチペンが実際に触れた画面の位置とが正しく一致する必要があります。ここでは、タッチペンと画面が同一の位置を認識できるように調整します。

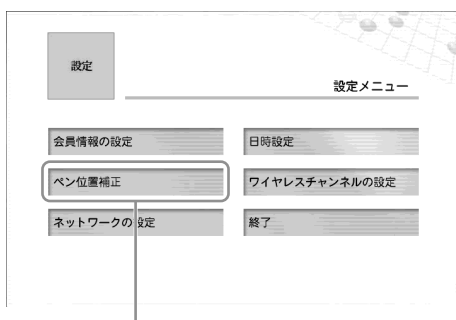
ご注意

- 他の筆記具や棒などで操作すると、画面が傷ついたり割れたりする原因になります。
- タッチペン収納部には磁石が入っているため、磁気カードや金属などを近づけないでください。
- タッチペンを使い終わったら、忘れずにモニター上部にしまってください。

1 **“ ＧＯ−ＮＥＴ ａ ”のメニュー画面を表示する。**

2 **モニター上部からタッチペンを取り出す。**

3 **“ＧＯ−ＮＥＴ ａ”のメニュー画面から [設定] を選ぶ。**

タッチペンで画面上の [設定] に軽く触れます。

「設定 メニュー」画面が表示されます。

4 **[ペン位置補正] を選ぶ。**

ペン位置補正

調整画面が表示されます。

5 **画面上の＋マークの中央を、9個すべて選ぶ。**

選ぶ順番は自由です。ただし、すべて選ばないと他の操作ができません。

画面上の＋をすべて選び終わると、「設定メニュー」画面に戻ります。

6 **[終了] を選ぶ。**

“ＧＯ−ＮＥＴ ａ”のメニュー画面に戻ります。

時計を合わせる

本体の設定一覧で、すでに時計の設定を行っている場合は必要ありません。

1 **“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”のメニュー画面を表示する。**

2 **[設定] を選ぶ。**

タッチペンで画面上の [設定] に軽く触れます。
「設定メニュー」画面が表示されます。

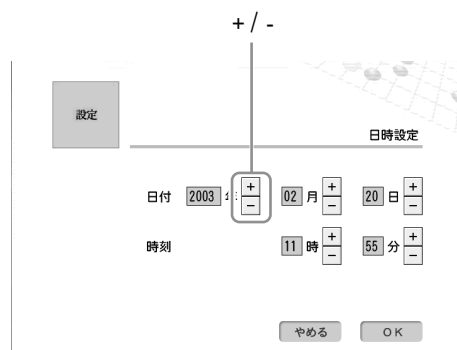
3 **[日時設定] を選ぶ。**

日時設定

「日時設定」画面が表示されます。

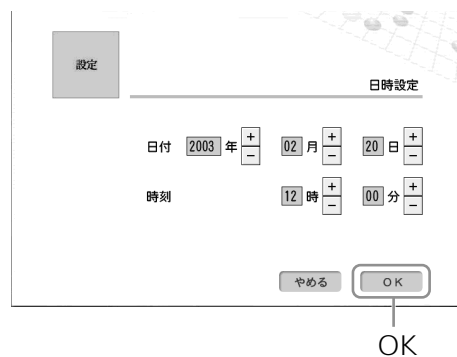
4 **「日付」または「時刻」を設定する。**

［＋］または［－］を繰り返し押して「日付」または「時刻」を設定します。

+/－

ちょっと一言

年月日時分のどこから設定してもかまいません。

6 **[OK] を選ぶ。**

OK

時計が動き始めます。時報と同時に［OK］を選ぶと正確になります。

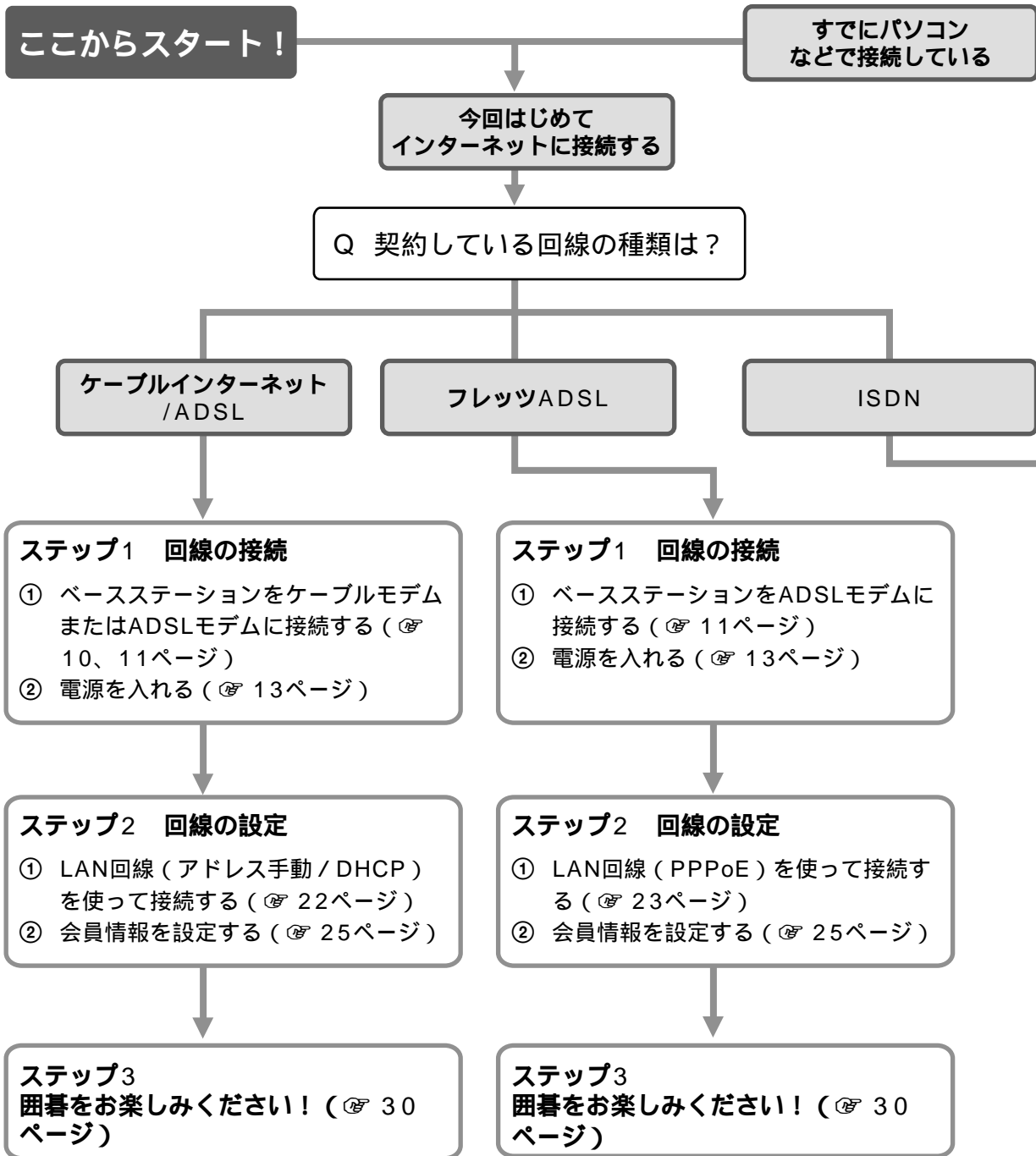
「設定メニュー」画面に戻ります。

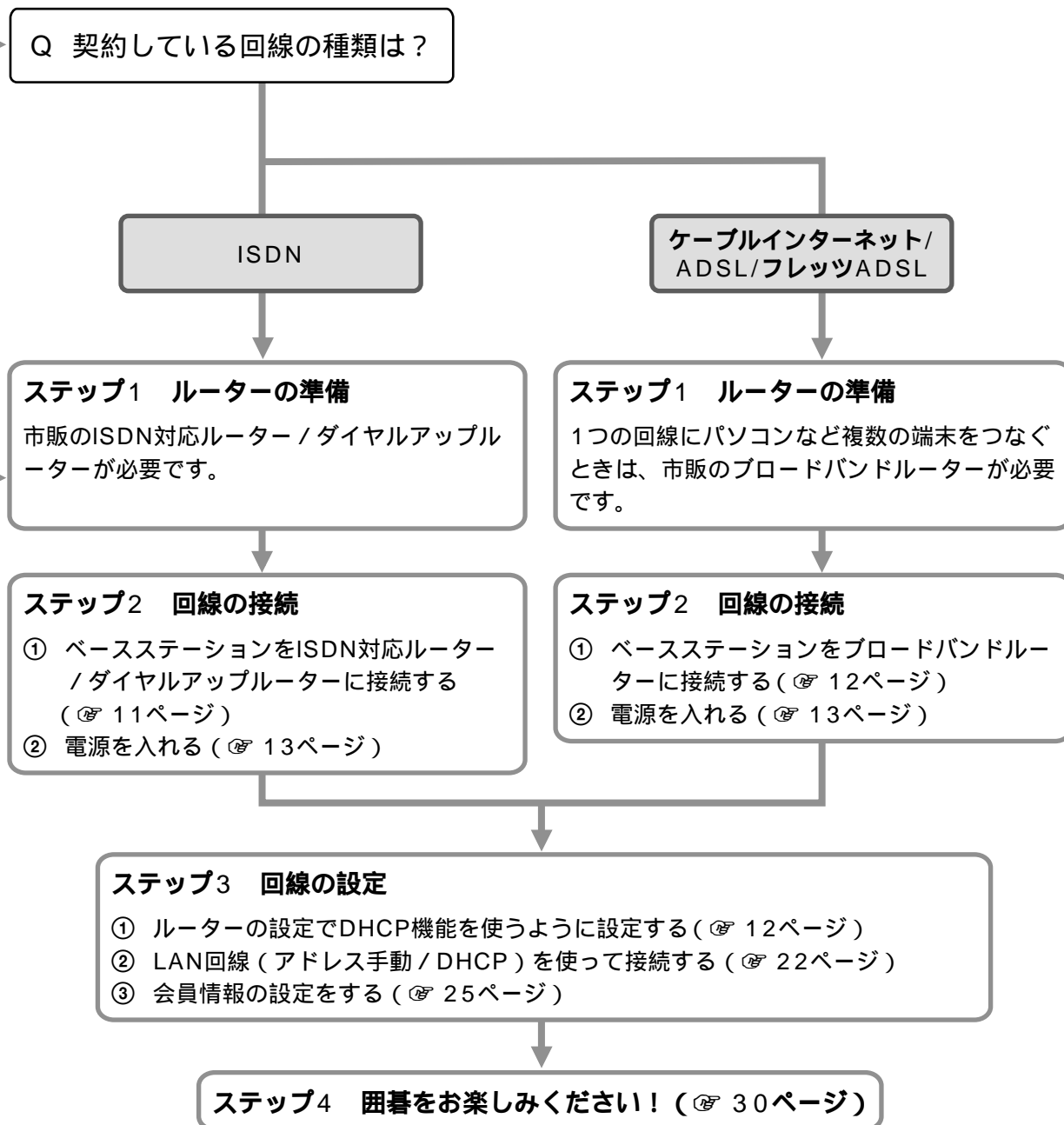
7 **[終了] を選ぶ。**

“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”のメニュー画面に戻ります。

回線の設定をする

インターネット接続ガイド

インターネットに接続するための設定は、お使いの回線によって異なります。
まず、このガイドを使ってインターネットに接続するために必要な作業を確認してください。

ご注意

ルーターで自動切断の設定をしていると、対局中、切断時間ごとに通信エラーを生じる場合があります。囲碁を楽しむときはルーターの自動切断の設定を外してください。

ご注意

- ご加入のインターネット接続事業者によっては複数台接続に制限のある場合があります。詳しくは、ご加入のインターネット接続事業者にお問い合わせください。
- フレッツISDNをご利用の場合、ダイアルアップルーターはフレッツISDN対応のものをご利用ください。

ルーターとは

ルーターとは、ネットワークとネットワークを中継する装置です。
ルーターを使用することにより、1つの回線で複数の端末を利用できるようになります。
ルーターの設定については、12ページをご覧ください。

LAN回線（アドレス手動/DHCP）を使って接続する

“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”のメニュー画面を表示する前に、次のことを必ず確認してください。

- イーサーネットケーブルはつながっていますか？
- ベースステーションの電源は入っていますか？
- 本機に“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”専用“メモリースティック”を入れてありますか？

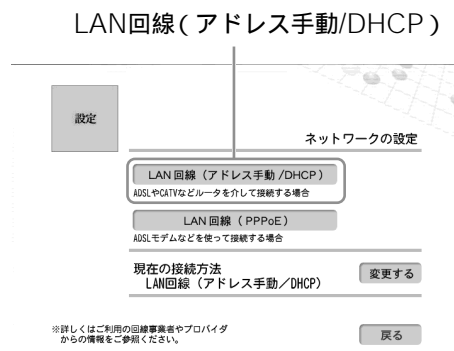
1 “ＧＯ－ＮＥＴ ａ”のメニュー画面を表示する。

2 [設定] を選ぶ。

タッチペンで画面上の [設定] に軽く触れます。
「設定メニュー」画面が表示されます。

3 [ネットワークの設定] を選ぶ。

「ネットワークの設定」画面が表示されます。

4 LAN回線（アドレス手動/DHCP）を選ぶ。

LAN回線（アドレス手動/DHCP）の設定画面が表示されます。

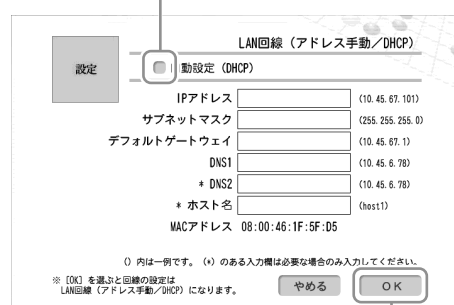
5 [自動接続（DHCP）] の□を選んで✓をつけ、[OK] を選ぶ。

ご注意

プロバイダからホスト名を指定されているときは、[自動接続（DHCP）] に✓をつける前に「ホスト名」欄に指定された名前を入力してください。空欄を選ぶとキーボードが表示されます。

ちょっと一言

数字や文字の入力について詳しくは、「文字入力」（☞ 46 ページ）をご覧ください。

ここに✓をつけます。

「ネットワークの設定」画面に戻ります。
「現在の接続方法：LAN回線（アドレス手動／DHCP）」と表示されます。

DHCPサーバーから「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」が自動的に割り当てられます。DHCPサーバーによっては「DNS」も自動的に割り当てられます。

手順5を行なってもネットワークにつながらないときは、回線事業者にお問い合わせください。

6 [戻る] を選ぶ。

[戻る]

「設定メニュー」画面に戻ります。

ご注意

「LAN回線（アドレス手動/DHCP）」を正しく設定しても、いったん「LAN回線（PPPoE）」画面を表示して［OK］を選ぶと、その時点で接続方法が切り換わってしまい、“ＧＯ−ＮＥＴ ａ”のネットワークに接続できなくなります。この場合は、[変更する] を選んでください。

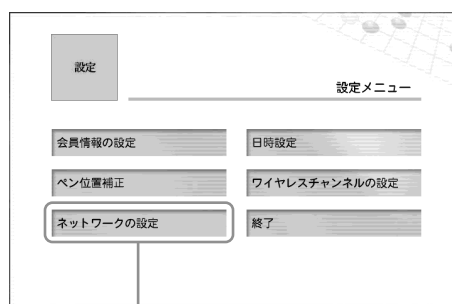
LAN回線（PPPoE（ピーピーピーオーイー））を使って接続する

“ＧＯ−ＮＥＴ ａ”のメニュー画面を表示する前に、次のことを必ず確認してください。

- イーサーネットケーブルはつながっていますか？
- ベースステーションの電源は入っていますか？
- 本機に“ＧＯ−ＮＥＴ ａ”専用“メモリースティック”を入れてありますか？

1 “ＧＯ−ＮＥＴ ａ”のメニュー画面を表示する。

2 [設定] を選ぶ。

タッチペンで画面上の [設定] に軽く触れます。
「設定メニュー」画面が表示されます。

3 [ネットワークの設定] を選ぶ。

ネットワークの設定

「ネットワークの設定」画面が表示されます。

次のページにつづく

4 [LAN回線（PPPoE）] を選ぶ。

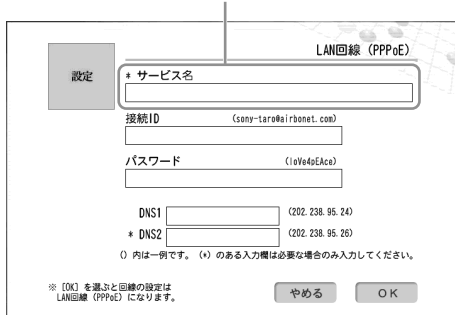
LAN回線（PPPoE）

PPPoEの設定画面が表示されます。

5 プロバイダのサービス名を入力する。

プロバイダを識別する名称です。

プロバイダによって必要な場合と不要な場合があります。プロバイダから入力の指示があるときのみ、「サービス名」欄を選んで、キーボードで入力します。

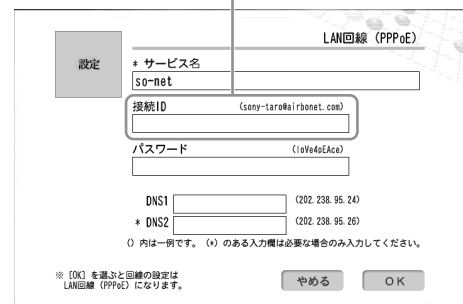
サービス名を入力します。

ちょっと一言

数字や文字の入力について詳しくは、「文字入力」（☞ 46 ページ）をご覧ください。

6 接続ID📖を入力する。

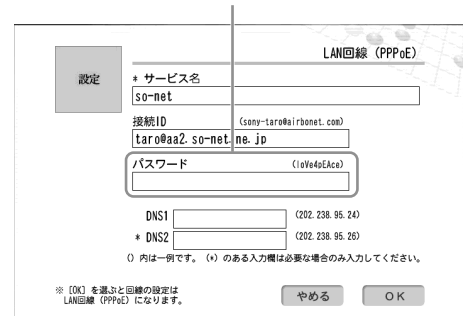
インターネットに接続するとき利用者本人であることを確認するための設定です。

「接続ID」欄を選んで、キーボードで入力します。

接続IDを入力します。

7 インターネット接続用パスワード📖を入力する。

利用者本人であることを確認するための設定です。

「パスワード」欄を選んで、キーボードで入力します。入力した文字は、秘密保持のため＊で表示されます。

パスワードを入力します。

お使いのプロバイダによっては、それぞれの用語は次のように呼ばれています。詳しくは、お使いのプロバイダからの資料などをご覧ください。

「接続ID」の別の呼びかた

「ユーザー名」、「ユーザーID」、「PPPログイン名」、「ネットワークID」、「接続ログイン名」、「アカウント名」、「ログオン名」

「パスワード」の別の呼びかた

「PPPパスワード」、「ネットワークパスワード」、「接続パスワード」

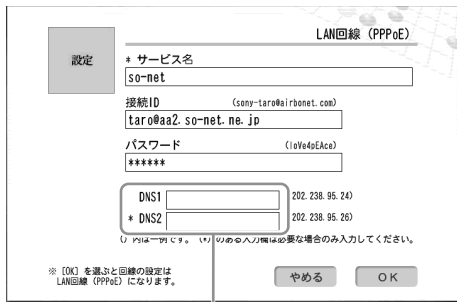
「DNS1」、「DNS2」の別の呼びかた

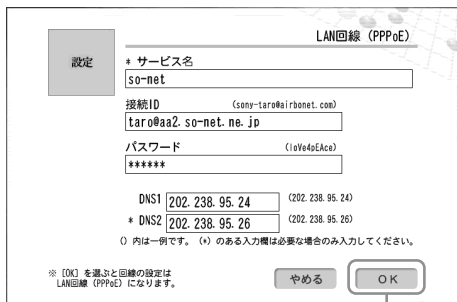
DNS1：「ネームサーバー」、「プライマリDNSサーバー」、「プライマリネームサーバー」、「ドメインネームサーバー」

DNS2：「ネームサーバー」、「セカンダリDNSサーバー」、「セカンダリネームサーバー」、「ドメインネームサーバー」

会員情報を設定する

8 DNS1、DNS2を入力する。

「DNS1」、「DNS2」欄を選んで、キーボードでプロバイダから指定された数字（0.0.0.0～255.255.255.255）を入力します。

DNS1、DNS2を入力します。

9 [OK] を選ぶ。

OK

「ネットワークの設定」画面に戻ります。
「現在の接続方法：LAN回線（PPPoE）」と表示されます。

10 [戻る] を選んで、「設定メニュー」画面に戻る。

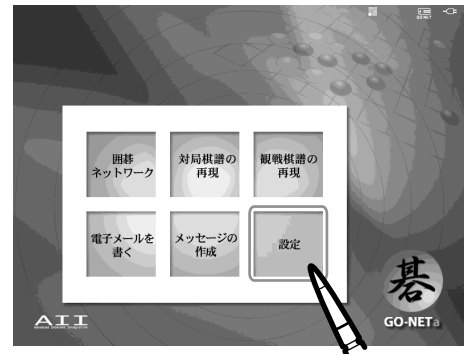
ご注意

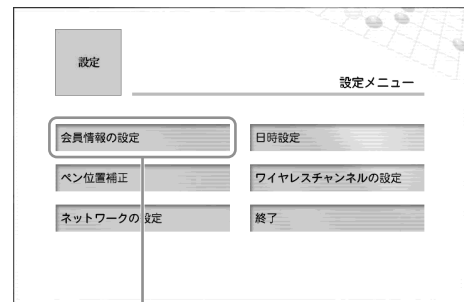
「LAN回線（PPPoE）」を正しく設定しても、いったん「LAN回線（アドレス手動/DHCP）」画面を表示して［OK］を選ぶと、その時点で接続方法が切り換わってしまい、“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”のネットワークに接続できなくなります。この場合は、[変更する] を選んでください。

AII（エー・アイ・アイ）お客様相談室から配付された会員番号、名前、棋力を入力します。一度設定しておけば、あとは暗証番号の入力のみで“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”が楽しめます。
ここで設定できるのは事前にAII（エー・アイ・アイ）に会員情報を登録している方のみです。

1 “ＧＯ－ＮＥＴ ａ”のメニュー画面を表示する。

2 [設定] を選ぶ。

タッチペンで画面上の [設定] に軽く触れます。

「設定メニュー」が表示されます。

3 [会員情報の設定] を選ぶ。

会員情報の設定

「会員情報の設定」画面が表示されます。

次のページにつづく

4 会員番号を入力する。

会員番号欄を選ぶと数字キーボードが表示されます。キーボードを使って数字を入力します。

会員番号は8桁で入力します。

（例：1000の場合は00001000）

会員番号を入力します。

ちょっと一言

数字や文字の入力について詳しくは、「文字入力」（☞ 46ページ）をご覧ください。

5 数字キーボードの [入力終了] を選ぶ。

入力終了

6 名前を入力する。

氏名欄を選ぶとキーボードが表示されます。キーボードで名前を入力します。

名前を入力します。

7 棋力を入力する。

棋力欄を選び、キーボードで入力します。

タッチペンで、「級」または「段」に触れると交互に表示が切り換わります。

棋力を入力します。

8 入力が終了したら、[OK] を選ぶ。

OK

会員番号、名前、棋力が登録され、「設定メニュー」画面に戻ります。

設定を中止するときは

「会員情報の設定」画面で [やめる] を選ぶ。
「設定メニュー」画面に戻ります。

“ＧＯ−ＮＥＴ ａ”のメニュー画面に戻るには

「設定メニュー」画面で [終了] を選ぶ。

ワイヤレスチャンネルを変更する

ワイヤレスの通信状態の悪い状態が数秒間続くと、本機は自動的に最適なワイヤレスチャンネルに変更します。手動で最適なワイヤレスチャンネルを設定したい場合は、以下の手順で変更してください。

1 “ＧＯ−ＮＥＴ ａ”のメニュー画面を表示する。

2 [設定] を選ぶ。

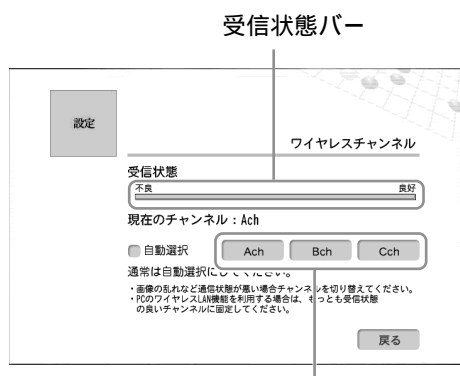
タッチペンで画面上の [設定] に軽く触れます。

「設定メニュー」画面が表示されます。

3 [ワイヤレスチャンネルの設定]を選ぶ。

「ワイヤレスチャンネルの設定」画面が表示されます。

4 [自動選択] の □ を選んで ✓（チェックマーク）をはずす。

5 画面を見ながら受信状態の良好なワイヤレスチャンネルを選ぶ。

受信状態バー

ここから選びます。

受信状態バーの青いバーが表示されるまでしばらくお待ちください。

ご注意

圏外 表示の出ないところで操作してください。

6 [戻る] を選ぶ。

「設定メニュー」画面に戻ります。

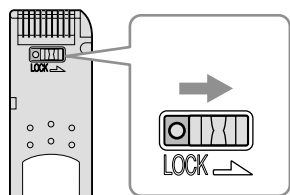
ちょっと一言

- 本機では2.4GHz帯の無線周波数を使用しています。Achには1チャンネル、Bchには6チャンネル、Cchには11チャンネルが割り当てられています。[自動選択] をチェックしていると、本機が自動的に最適なワイヤレスチャンネルを選択します。
- 近距離で本機を2台以上使用する場合は、[自動選択] の ✓ をはずしてそれぞれ別のワイヤレスチャンネルを選んでください。
- 近距離で「2.4GHz、IEEE802.11b」準拠のワイヤレスLANのアクセスポイントを使用するときは、[自動選択] の ✓ をはずしてワイヤレスLANで設定しているチャンネル以外のチャンネルに変更してください。たとえば、ワイヤレスLANのアクセスポイントが1チャンネル（Ach）であれば、本機はBch（6チャンネル）またはCch（11チャンネル）に設定します。

“ メモリースティック ”について

“ メモリースティック ”は、小さくて軽く、フロッピーディスクよりも容量が大きい新世代のIC記録メディアです。
付属の“ メモリースティック ”は“ ＧＯ－ＮＥＴ ａ ”専用“ メモリースティック ”ですが、ここに対局棋譜や観戦棋譜を保存することもできます。

記録されているデータ（棋譜）を誤って消さないためには

誤消去防止スイッチをスライドさせて、「LOCK」にします。

“メモリースティック”についてのご注意

取り扱いについて

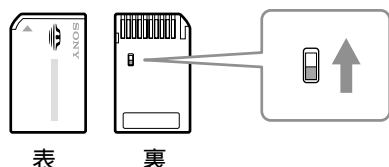
- 持ち運びや保管の際は、“メモリースティック”に付属の収納ケースに入れてください。
- 端子部には手や金属で触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- お子さまの手の届く場所に放置しないでください。

使用場所について

以下の場所での使用や保存は避けてください。
－ 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
－ 直射日光のあたる場所
－ 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

“ メモリースティック デュオ ”についてのご注意

“ メモリースティック デュオ ”

表　裏

メモリースティックデュオアダプターに取り付けて使えば、本機でも“ メモリースティック デュオ ”を使えます。

以下のことをすると、“ メモリースティック デュオ ”が壊れたり、本機のメモリースティック挿入口が破損したりすることがあります。

- メモリースティック デュオ アダプターを取り付けずに、“ メモリースティック デュオ ”を入れた場合
- 逆向きに無理に入れた場合

データについて

- “ ＧＯ－ＮＥＴ ａ ”専用“ メモリースティック ”をエアボード本体やデジタルカメラなど他の機器で初期化すると、“ ＧＯ－ＮＥＴ ａ ”に必要なデータがすべて消去されますのでご注意ください。
  「対局棋譜の再現メニュー」、「観戦棋譜の再現メニュー」で“ ＧＯ－ＮＥＴ ａ ”専用“ メモリースティック ”の初期化はできません。
- “メモリースティック”の誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると、データの記録や消去ができなくなります。データを“メモリースティック”へ保存やコピーをしたり、“メモリースティック”内のデータを消去する場合は、「LOCK」をはずしてください。
- 以下のような場合、“メモリースティック”を抜き挿ししたり、本機の電源を切るようなことは、絶対にやめてください。
  －“メモリースティック”用ランプが赤く点灯しているとき
  －データを“メモリースティック”にコピーしているとき
  －“メモリースティック”内のデータを削除しているとき
  －“メモリースティック”を初期化しているとき
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  －読み込み中、書き込み中に“メモリースティック”を取り出したり、本機の電源を切った場合
  －静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 大切なデータは、パソコンなどを使って他の“メモリースティック”やハードディスクにコピーし、保存（バックアップ）しておくことをおすすめします。

ⓘ ご注意

“ ＧＯ－ＮＥＴ ａ ”のソフトは他の“ メモリースティック ”にバックアップすることはできません。

ここでは、ネットワークに接続して“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”で対局をお楽しみいただくための操作について説明します。

対局方法を選ぶ

他の会員と“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”で対局を楽しむには、まず囲碁ネットワークに接続し、対局する相手を選びます。
自分の棋力に合った会員と対局する、相手を指定して対局する、囲碁大会に参加するなど、さまざまな楽しみかたができます。

ちょっと一言

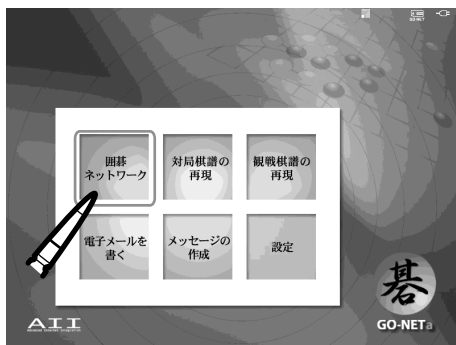
“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”メニューの「設定」で会員情報の設定がされていないと、手順3で暗証番号の入力ができません。

自分の棋力に合った会員と対局する（一般対局）

囲碁ネットワークに接続して対局する相手を待っている会員と対局する方法です。

1 **“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”のメニュー画面を表示する。**

2 **[囲碁ネットワーク] を選ぶ。**

タッチペンで画面上の[囲碁ネットワーク] に軽く触れます。

暗証番号入力画面が表示されます。

3 **暗証番号を入力する。**

暗証番号を入力する。

[会員氏名] 欄にある名前を確認し、暗証番号を入力してください。

暗証番号入力欄を選ぶと、英数キーボードが表示されます。キーボードで4〜16桁の暗証番号を入力します。入力できるのは、半角英数字、@、ピリオド（.）、アンダーバー（_）およびハイフン（-）です。入力した文字は秘密保持のため＊で表示されます。

名前入力欄の▼を選ぶと登録した名前が表示されます。

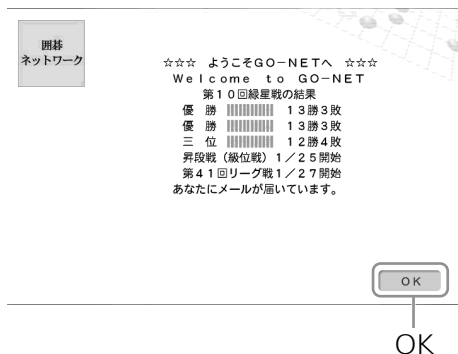
ちょっと一言

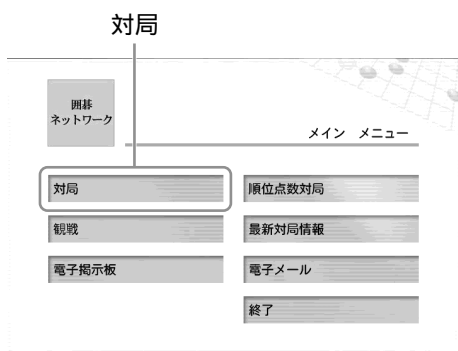
英数字の入力について詳しくは、「英数字を入力する」（☞ 50 ページ）をご覧ください。

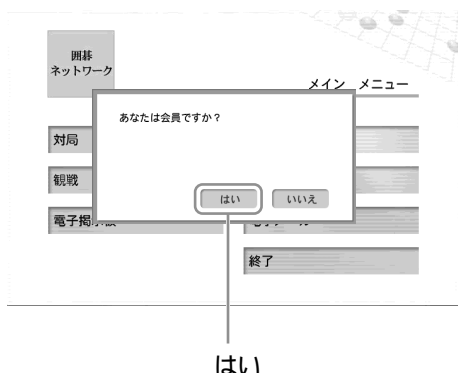
4 **入力が終了したら、[OK] を選ぶ。**

「ようこそGO-NETへ」の画面と囲碁大会のお知らせなどのニュースが表示されます。

この画面が表示されたら、囲碁ネットワークにつながったことになります。

5 [OK] を選ぶ。

「メインメニュー」画面が表示されます。

6 [対局]を選ぶ。

会員確認の画面が表示されます。

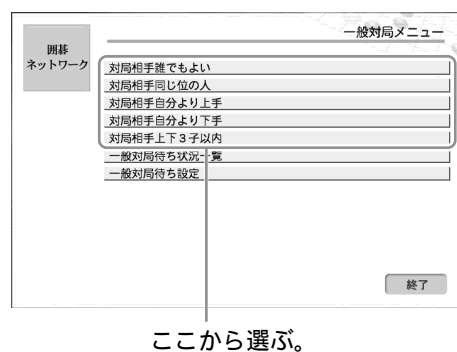
7 [はい] を選ぶ。

「対局メニュー」画面が表示されます。

ちょっと一言

ここで [いいえ] を選ぶと、棋力を変えての対局や、会員以外のご家族のかたなども対局を楽しむことができます。（☞ 33、32ページ）

8 [一般対局] を選ぶ。

「一般対局メニュー」が表示されます。

9 下記の棋力条件を参考に、対戦したい相手を選ぶ。

[対局相手誰でもよい]：上下9子以内の相手

[対局相手同じ位の人]：上下1子以内の相手

[対局相手自分より上手]：上手5子以内の相手

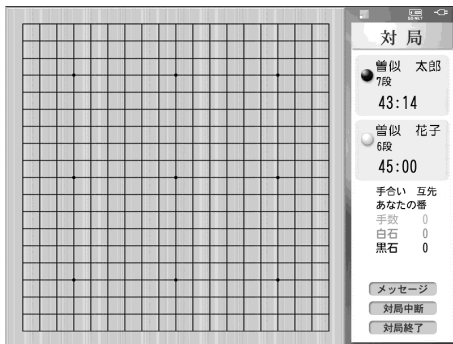
[対局相手自分より下手]：下手5子以内の相手

[対局相手上下3子以内]：上下3子以内の相手

10 対局条件に合った相手が見つかった場合は

「対局者の紹介（氏名、会員番号、棋力など）」が表示されますので、[OK]を選ぶ。

対局開始の画面が表示されたら、[OK] を選ぶ。

対局画面になります。

このあとの操作は、「対局を開始する（着手）」（☞ 36ページ）をご覧ください。

選んだ条件に合った相手が見つからない場合は

「相手が見つかりません。このまま待ちますか？」というメッセージが表示されたら、「はい」を選ぶ。

「いいえ」を選ぶと「一般対局メニュー」に戻ります。条件を変えて再度相手を探すことができます。

「お相手を探しています」というメッセージが表示されます。

「やめる」を選ぶと、条件を変えて再度相手を探すことができます。

相手が見つかると、音で知らせると同時に相手の情報（氏名、会員番号、棋力など）が表示されます。「対局条件に合った相手が見つかった場合は」（☞ 左段）と同様の手順を行うと対局画面になります。

ちょっと一言

- 観戦しながら対局相手を待つことができます。（☞ 56ページ）
- 「一般対局メニュー」から [一般対局待ち状況一覧] を選ぶと、現在対局を待っている会員の状況を見ることができます。[前ページ] 、[次ページ] を選ぶごとに対局待ちの会員一覧のページが切り替ります。

家族や友人が対局する

対局料、観戦料は会員に課金されます。

1 「自分の棋力に合った会員と対局する（一般対局）」の手順1〜6を行なう。

2 会員確認の画面で [いいえ] を選ぶ。

名前や棋力を入力する画面が表示されます。

3 **「段」または「級」と名前を入力する。**

[棋力] または [お名前] の空欄を選ぶとキーボードが表示されます。

数字や文字の入力について詳しくは、「文字入力」（☞ 46 ページ）をご覧ください。

4 [OK] **を選ぶ。**

「対局メニュー」画面が表示されます。

5 **「自分の棋力に合った会員と対局する（一般対局）」の手順8〜10を行なう。**

会員と同じように“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”で対局をお楽しみいただけます。

棋力を変えて楽しむ

例えば、2段の人が3段の手合いで碁を打ちたいとき、棋力を変えて対局できます。

1 **「自分の棋力に合った会員と対局する（一般対局）」の手順1〜6を行なう。**

2 **会員確認の画面で** [いいえ] **を選ぶ。**

名前や棋力を入力する画面が表示されます。

3 [棋力] **欄に、登録してあるものと異なる「段」または「級」を入力し、名前を入力する。**

4 [OK] **を選ぶ。**

「対局メニュー」画面が表示されます。

5 **「自分の棋力に合った会員と対局する（一般対局）」の手順8〜10を行なう。**

次のページにつづく

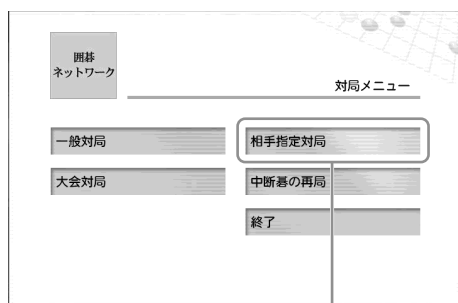
相手を指定して対局する（相手指定対局）

相手を指定して対局できます。
電話やメールなどで、対局したい相手と対局の日時を決め、約束の日時に両者で囲碁ネットワークに接続します。

1 「対局メニュー」画面を表示させる。

「自分の棋力に合った会員と対局する（一般対局）」（☞ 30ページ）の手順1～7をご覧になり、「対局メニュー」画面を表示させます。

2 [相手指定対局]を選ぶ。

タッチペンで画面上の [相手指定対局] に軽く触れます。

相手指定対局

対局相手を指定する画面が表示されます。

3 「相手の会員番号」欄を選び、キーボードで相手の会員番号を入力する。

数字の入力について詳しくは、「文字入力」（☞ 46ページ）をご覧ください。

相手の会員番号を入力する。

4 入力が終わったら、[OK] を選ぶ。

このとき、相手が、手順3の画面で [相手の会員番号] を入力していない場合、「相手が見つかりません。このまま待ちますか？」と画面に出ますので、[はい] を選んでください。

相手が見つかると、黒番にのみ対局条件の入力画面が表示されます。

ちょっと一言

相手が見つからない場合、メッセージ画面で [やめる] を選ぶと、相手を指定し直したり、終了して「対局メニュー」に戻ることもできます。

5 **[置石]、[持ち時間]、[秒読み]の欄を選び、キーボードでそれぞれ入力する。**

何も入力しない場合は、「置石なし」、「持ち時間45分」、「秒読み30秒」で自動的に設定されます。

置石を入力する。

持ち時間（分）を入力する。

秒読み（秒）を入力する。

6 **入力が終わったら、[OK] を選ぶ。**

「対局者の紹介」画面が表示されます。

7 **[OK] を選ぶ。**

対局開始の画面が表示されます。

8 **[OK] を選ぶ。**

対局画面になります。

このあとの操作は、「対局を開始する（着手）」（☞ 36ページ）をご覧ください。

囲碁大会で対局する（大会対局）

“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”で開催している囲碁ネットワークの大会に参加できます。

“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”センターに電話などで参加を申し込むと、大会要項や対局の日程表が送られてきます。

“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”センター
電話：047-362-1160
ファックス：047-362-1758
電子メール：1000番

1 **対局日時に、“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”のメニュー画面から「対局メニュー」画面を表示させる。**

「自分の棋力に合った会員と対局する（一般対局）」（☞ 30ページ）の手順1～7をご覧になり、「対局メニュー」画面を表示させます。

2 **[大会対局] を選ぶ。**

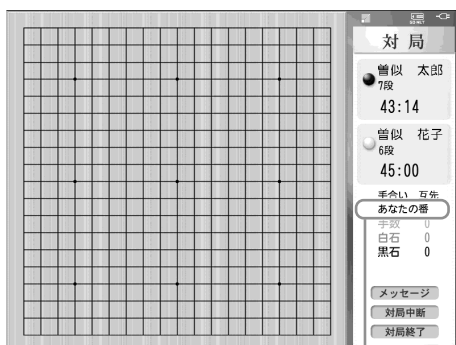
大会対局

対局相手を指定する画面が表示されます。

3 **「相手を指定して対局する（相手指定対局）」（☞ 34ページ）の手順3～8を行う。**

対局を開始する（着手）

対局画面が表示されたら、次の手順で着手します。

1 **対局画面右側に[あなたの番]が表示されたら、碁盤上で石を打ちたい場所をタッチペンまたは指先で軽く触れる。**

あなたの番

石を打つ音とともに石が置かれます。

このとき石の上に赤い■が点滅表示されます。この状態のときは打ち直しができます。別の場所に石を打つと、前に打った石が消えます。

2 **再度同じ場所を選ぶ。**

石の上に赤い口が表示されて確定します。一度確定すると打ち直すことはできません。

[相手の番]と表示され、相手が着手します。石を打つ音とともに相手の石が置かれます。

相手の石が確定したら石の上に赤い■が表示されます。

相手の手番の間は対局画面右下の操作ボタンは選べません。

ちょっと一言

- 秒読み残り時間が10秒を切ると、秒読みに合わせて音がなります。
- モニター上部の音量＋／ーボタンで効果音の音量を調節できます。

対局画面について

あなたの名前と棋力

あなたの持ち時間（残り時間）または秒読み（赤字で表示）

相手の名前と棋力

相手の持ち時間（残り時間）または秒読み（赤字で表示）

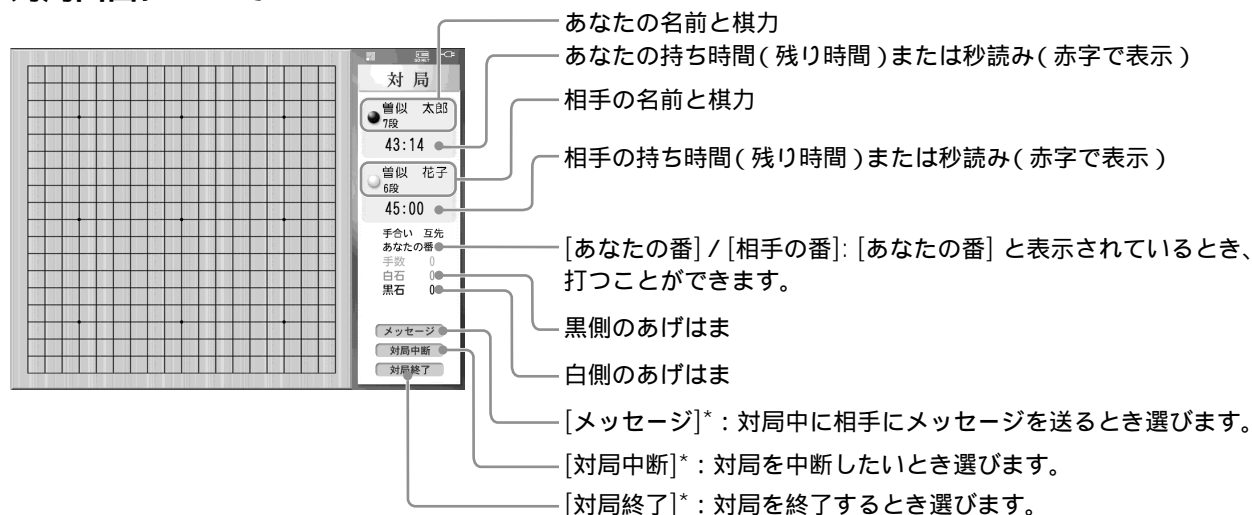
[あなたの番]／[相手の番]: [あなたの番] と表示されているとき、打つことができます。

黒側のあげはま

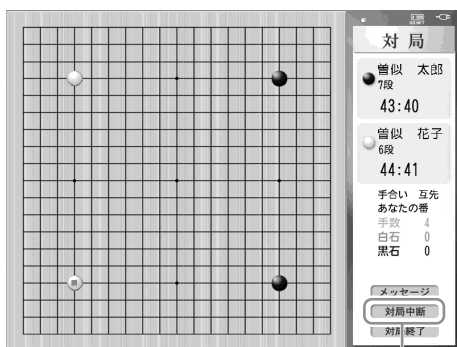
白側のあげはま

[メッセージ]*：対局中に相手にメッセージを送るとき選びます。

[対局中断]*：対局を中断したいとき選びます。

[対局終了]*：対局を終了するとき選びます。

* [相手の番] と表示されているときは選べません。

対局を中断する

1 **自分の手番のとき、[対局中断] を選ぶ。**

対局中断

対局中断確認の画面が表示されます。

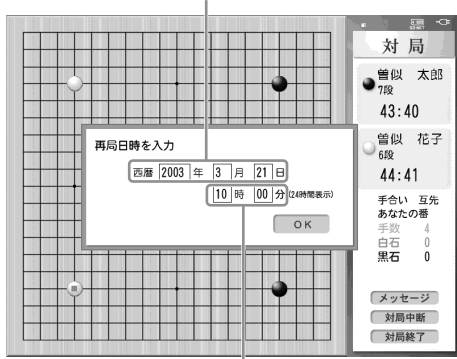
2 **[はい] を選ぶ。**

再局日時の入力画面が表示されます。

3 **再局を希望する年月日と時刻を入力する。**

それぞれの空欄を選ぶと数字キーボードが表示されます。キーボードで再局日時を入力します。

数字の入力について詳しくは、「文字入力」(☞ 46ページ)をご覧ください。

年月日を入力する。

時刻を入力する。

4 **[OK] を選ぶ。**

相手に再局日時が送信されます。

5 **相手が再局日時に同意したとき**

「対局を中断しました。」と画面に表示されたら [OK] を選ぶ。

相手が再局日時の変更を希望したとき

画面に相手が希望する再局日時が表示されます。

❶ 相手が希望する再局日時に同意するときは
[はい] を選ぶ。
「対局が中断しました。」と表示されますので、[OK] を選んでください。

❷ 相手が希望する再局日時に同意できないときは
[いいえ] を選ぶ。
中断した対局は中止となり、再局はできません。対局中止の画面が表示されますので、[OK] を選んでください。

「棋譜を保存しますか」というメッセージが表示されます。

[はい] を選ぶと“メモリースティック”に中断碁の棋譜が保存されます。詳しくは、「棋譜を保存する」(☞ 44ページ)をご覧ください。

中断した対局を再開する

中断した対局を両者が同意した日時に再局するときや、対局中に 圏外 が表示されて中断した対局を再開するときは、次の手順に従ってください。

1 **“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”のメニュー画面から [囲碁ネットワーク] を選ぶ。**

2 **会員氏名と暗証番号を入力し、[OK] を選ぶ。**

「ようこそGO-NETへ」の画面が表示され、囲碁ネットワークに接続されます。

3 **[OK] を選ぶ。**

「メインメニュー」画面が表示されます。

4 **[対局] を選ぶ。**

会員確認の画面が表示されます。

5 **[はい] を選ぶ。**

「対局メニュー」画面が表示されます。

6 **[中断碁の再局] を選ぶ。**

中断碁の再局

「中断碁の一覧」が表示されます。

7 **一覧から、打ち継ぐ対局を選ぶ。**

対戦相手の情報が表示されます。

8 **[OK] を選ぶ。**

対局開始の画面が表示されます。

9 **[OK] を選ぶ。**

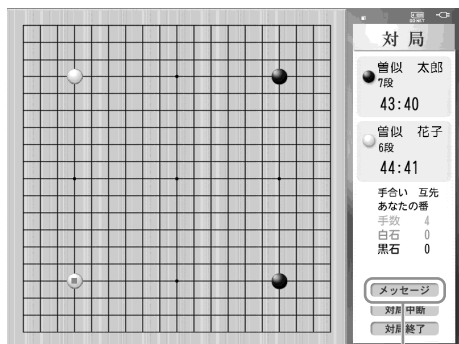
対局画面が表示され、打ちかけた時点から対局を再開できます。

ちょっと一言

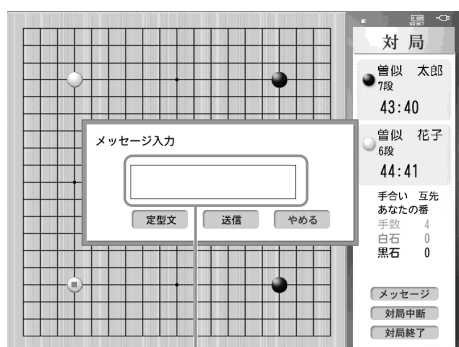
中断碁の一覧で対局相手を選んでも、「対局相手が見つかりません。このまま待ちますか？」というメッセージ画面が表示されることがあります。これは、相手がまだ「中断碁の再局」の画面を立ち上げていないためです。「はい」を選び相手が中断碁の再局操作を行うまで待ってください。相手も再局操作を行うと対戦相手の情報が表示され、上記の手順8、9で再局できます。

対局中にメッセージを送信する

対局中、相手にメッセージを送ることができます。また、相手からのメッセージが碁盤上に表示されることもあります。

1 **[メッセージ] を選ぶ。**

メッセージ

「メッセージ入力」画面が碁盤上に表示されます。

2 **メッセージ入力欄を選ぶ。**

ここを選ぶ。

画面にキーボードが表示され、入力欄に「I」（カーソル）が表示されます。

ちょっと一言

メッセージ入力欄を表示したあと何も入力せずに [やめる] を選ぶと、碁石を置いたあとに“ピンポン”という音が対局相手側でなります。

3 **キーボードでメッセージを入力する。**

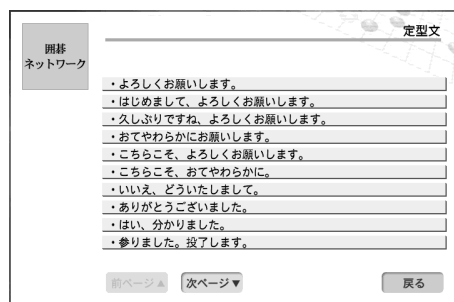
文字の入力のしかたについては、「文字入力」（☞ 46ページ）をご覧ください。

4 **[送信] を選ぶ。**

あらかじめ登録されている文面を入力するには

キーボードを使ってメッセージを入力する代わりに、定型文リストからあらかじめ登録されている文面を選んで入力することができます。

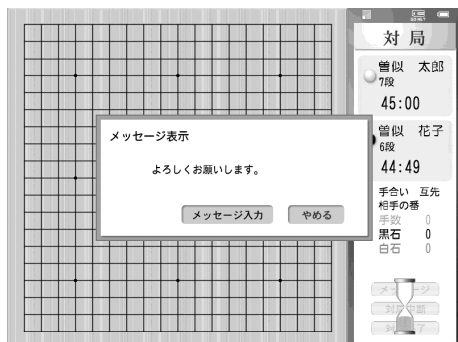
1 「メッセージ入力」画面の[定型文]を選ぶ。
定型文リストが表示されます。

2 入力したいメッセージを選ぶ。

メッセージ入力欄に表示されます。

ちょっと一言

定型文リストに、自分で作成したメッセージを登録することができます。詳しくは、「メッセージを作成する」（☞ 65ページ）をご覧ください。

相手からのメッセージを受信すると

「メッセージ表示」画面が碁盤上に表示され、メッセージが表示されます。

ここで、相手に返信することもできます。[メッセージ入力] を選ぶと、「対局中にメッセージを送信する」（☞ 39ページ）の手順2の画面が表示され（入力欄の上に相手からのメッセージも表示されます。）、手順2〜4で返信できます。[やめる] を選んで終了すると対局画面に戻ります。

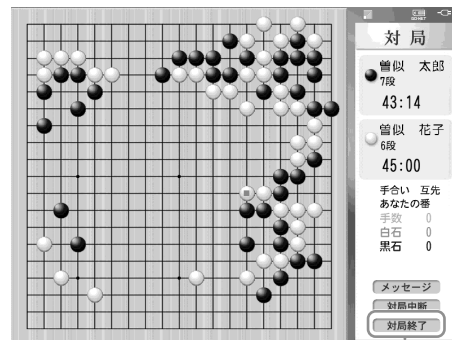
対局を終了する（終局）

自分の手番のとき対局を終了することができます。

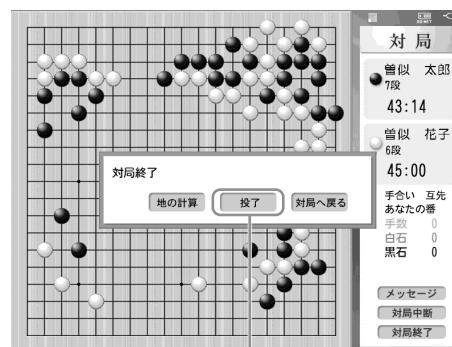
投了する

自分の中押し負けを認めた場合、投了で終局させます。

1　対局画面で [対局終了] を選ぶ。

タッチペンで画面上の [対局終了] に軽く触れます。

対局終了

「対局終了」画面が表示されます。

2　[投了] を選ぶ。

投了

投了確認の画面が表示されます。

3 [はい] を選ぶ。

「あなたの投了負けです。」のメッセージが表示されます。

4 [OK] を選ぶ。

「棋譜を保存しますか？」というメッセージが表示されます。

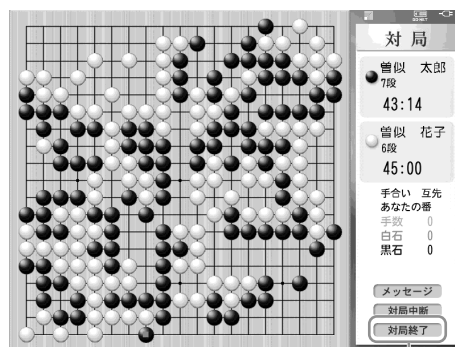
[はい] を選ぶと“ メモリースティック ”に対局の棋譜が保存されます。

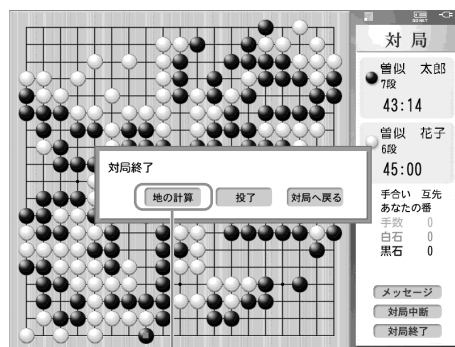
棋譜の保存について詳しくは、44ページをご覧ください。

地の計算をする

本機では、白番と黒番の両者がそれぞれの画面で作り碁にし、両者の計算結果を照合します。画面で、黒石、白石両方の「死石取り」と「手入れ」を行ってください。（駄目づめは必要ありません。）

1 対局画面で [対局終了] を選ぶ。

タッチペンで画面上の[対局終了]に軽く触れます。

「対局終了」画面が表示されます。

2 [地の計算] を選ぶ。

「地の計算をしますか？」というメッセージが表示されます。

対局

次のページにつづく

3 [はい] を選ぶ。

相手の画面には、終了に同意するかどうかの確認の画面が表示されます。

相手が同意した場合、黒番の画面にのみ「地の計算を行いますか？」（黒番の地の計算確認の画面）と表示されます。

ちょっと一言

相手が、終了確認の画面で [いいえ] を選んだ場合は、対局継続要求の画面が表示されます。「対局」画面に戻りますので、対局を継続してください。

4 [はい] を選ぶ。

はい

「地の計算」画面が表示されます。黒石、白石両方の「死石取り」と「手入れ」を行ってください。

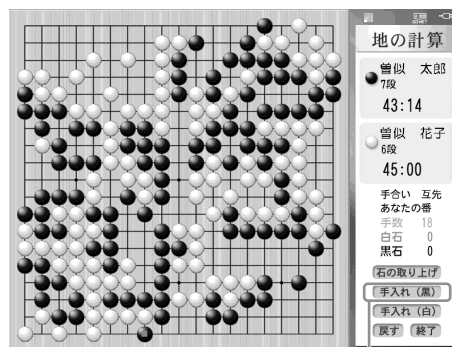
詳しくは、「地の計算を終了する」をご覧ください。

ちょっと一言

黒番の地の計算確認の画面は、地の計算を黒番でしないで白番にまかせるかどうかを聞いています。手順3で [いいえ] を選ぶと、白番の計算結果を受け入れることを意味します。

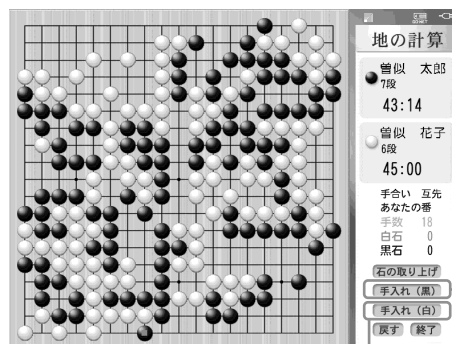
地の計算を終了する

「地の計算をする」の手順4のあと、「地の計算」画面で黒石、白石両方の死石取り（石の取り上げ）と黒石、白石それぞれの手入れを行います。

1 [手入れ (黒)] を選ぶ。

手入れ (黒)

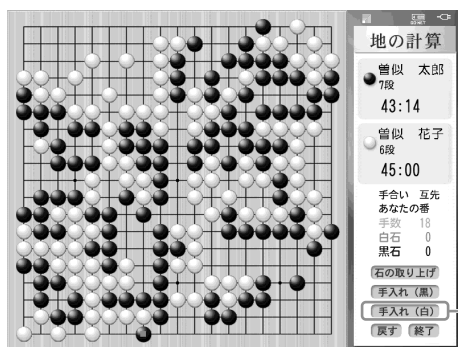
2 碁盤上で、黒石の手入れが必要な場所を選ぶ。

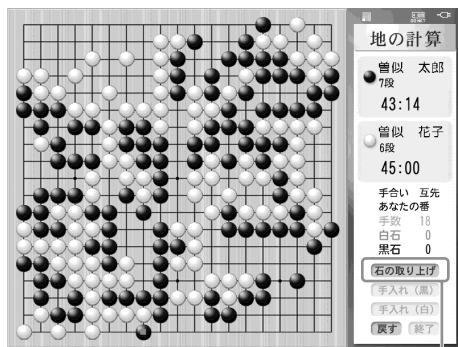
黒石が置かれます。

3 黒石の手入れが終了したら、[手入れ (黒)] を選んでから [手入れ (白)] を選ぶ。

手入れ (白)
手入れ (黒)

4 碁盤上で、白石の手入れが必要な場所を選ぶ。

白石が置かれます。

5 白石の手入れが終了したら [手入れ（白）] を選ぶ。

6 [石の取り上げ] を選び、碁盤上で死石を選ぶ。

死石が消えます。

7 石の取り上げが終了したら、[石の取り上げ] を選び、[終了] を選ぶ。

自分で計算した地の目数が表示されます。

ご自分の目算と合うかどうか確認してください。

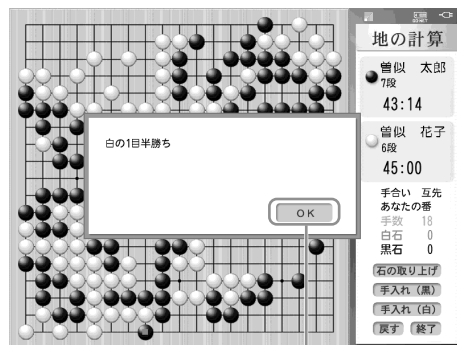
8 [再計算] または [終了] を選ぶ。

[再計算] を選ぶと「地の計算」画面に戻り、石の取り上げと手入れを再度行えます。

[終了] を選んだあとは1回しか再計算できません。2回間違えると「勝負預かり」となり、“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”センターへの連絡が必要となります。（☞ 44ページ）

計算結果が送信され、相手の計算結果と照合されます。

両者の結果が一致した場合、勝敗の画面が表示されます。

9 [OK] を選ぶ。

対局終了となり、「棋譜を保存しますか？」というメッセージが表示されます。[はい]を選ぶと、“メモリースティック”に対局の棋譜が保存されます。

ちょっと一言

石の取り上げや手入れで誤って石を選んだ場合は、[戻す] を選ぶと元に戻せます。

次のページにつづく

相手と計算結果が一致しなかったときは

「地の計算を終了する」の手順8で、両者の結果が一致しない場合、「再計算確認」画面が表示されます。

[はい] を選んだとき
「地の計算」画面に戻ります。「地の計算を終了する」の手順1〜8で石の取り上げと手入れを再度行ってください。

[いいえ] を選んだとき
計算結果がそのまま相手に再送信されます。

いずれの場合も2回目の計算結果照合が行われ、両者の結果が一致した場合、碁は終了します。
一致しない場合は、「勝負預かり」の画面が表示されます。[OK] を選んで対局を終了してください。“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”センターの指導員が勝敗を判定します。“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”センターにご連絡ください。

“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”センター
電話：047-362-1160
ファックス：047-362-1758
電子メール：1000番

判定の結果は、「最新対局情報」でご覧になれます。詳しくは、63ページをご覧ください。

ちょっと一言
両者の目数が違っていても勝敗に影響しないときは、白（上手）の目数を正しいものとして確定します。

“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”を終了するには

対局を終了すると、「対局メニュー」画面になります。

1 「対局メニュー」画面で [終了] を選ぶ。
「メインメニュー」画面が表示されます。

2 [終了] を選ぶ。
「ログオフ通知」画面が表示されます。

3 [OK] を選ぶ。
“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”のメニュー画面が表示されます。

4 モニターの [電源] ボタンを押して、電源を切る。
本機でテレビなど、他の機能をお使いになるときは、“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”専用“メモリースティック”を取り出してから、電源を入れ直してください。

棋譜を保存する

対局終了時または観戦終了時に、「棋譜を保存しますか？」というメッセージが表示されます。
[はい]を選ぶと、“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”専用“メモリースティック”に対局棋譜または観戦棋譜が保存されます。それぞれ300局まで保存できます。301局目からは古いものから上書きされます。
保存した棋譜を削除したり（☞ 58ページ）、“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”専用“メモリースティック”以外の“メモリースティック”にコピーする（☞ 59ページ）こともできます。
保存した棋譜をご覧になる場合は、「棋譜を再現する」（☞ 57ページ）をご覧ください。

ちょっと一言
他の会員同士の対局をリアルタイムで観戦することができます。詳しくは、「他の人の対局を観戦する」（☞ 54ページ）をご覧ください。

文字入力

設定画面の入力をしたり、メッセージや電子メールをやりとりする場合の文字入力には、画面に表示されるキーボードを使います。

数字キーボードで数字を入力する

会員番号など数字のみを入力するときは、数字キーボードが画面に表示されます。

1 **画面の入力欄に軽く触れる。**

画面に数字キーボードが表示され、入力欄には「**I**」（カーソル）が表示されます。

数字キーボード

2 **数字を順に入力する。**

3 **[入力終了] を選ぶ。**

入力終了

数字キーボードが消えます。

他の入力欄に文字や数字を入力するときは、一度キーボードの [入力終了] を選んでから入力したい入力欄を選びます。

文字を入力する

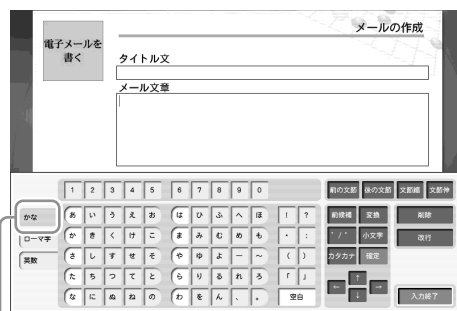
名前やメッセージなど、文字を入力するときは文字入力用のキーボードが画面に表示されます。
本機ではかな入力またはローマ字入力が選べます。キーボード選択キーの [かな] または [ローマ字] を選ぶと、「かなキーボード」または「ローマ字キーボード」が表示されます。

かな入力で文字を入力する

例として「ありがとう。」を入力してみます。

1 **画面の文字入力欄に軽く触れる。**

画面にキーボードが表示され、文字入力欄には「**I**」（カーソル）が表示されます。

2 **キーボード選択キーの [かな] を選ぶ。**

かな

「かなキーボード」が表示されます。

3 ひらがなで「ありがとう。」と入力する。

順にキーボードの「あ」、「り」、「か」、「"／°」、「と」、「う」、「。」を選びます。青字で入力されます。

濁点または半濁点を付ける場合は、文字を選んでから、["／°] キーを選びます。

漢字やカタカナに変換する場合は、「入力した文字を変換する」(☞ 48ページ) をご覧ください。

4 [確定] を選ぶ。

確定すると、画面の文字は黒字に変わります。

入力が終了したら

キーボードの [入力終了] を選ぶ。
キーボードが消えます。

ちょっと一言

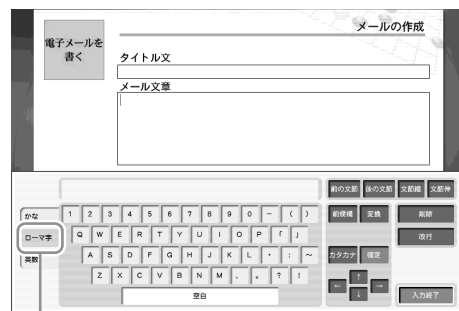
入力位置を移動するときは [←]、[→]、[↑]、[↓] を使って、入力したい位置の左側に「I」(カーソル) を置いて入力します。

ローマ字入力で文字を入力する

「ありがとう。」をローマ字で入力してみます。

1 画面の文字入力欄に軽く触れる。

画面にキーボードが表示され、文字入力欄には「I」(カーソル) が表示されます。

2 キーボード選択キーの [ローマ字] を選ぶ。

ローマ字キーボードが表示されます。

3 順にキーボードの[A]、[R]、[I]、[G]、[A]、[T]、[O]、[U]、[。]を選ぶ。

小文字や濁点、半濁点の入力のしかたなどは、本体取説の264ページにある「ローマ字対照表」をご覧ください。

4 確定を選ぶ。

入力した文字が黒字に変わります。

文字入力

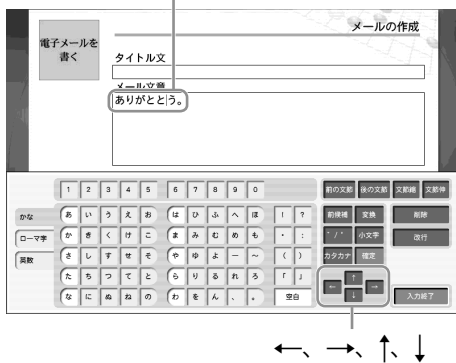
文字を削除したいときは

1 **[←]、[→]、[↑]、[↓] を使って、削除したい文字の右側に「I」（カーソル）を置く。**

削除したい文字の右側を選びます。

←、→、↑、↓

2 **[削除] を選ぶ。**

削除

文字が削除されます。

入力した文字を変換する

かな入力またはローマ字入力で入力した文字を漢字やカタカナにしたり、長い文章を一度に変換する方法です。

ひらがなのままにするには

[確定]を選ぶ。

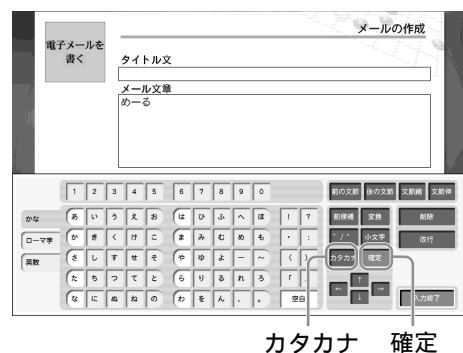
漢字に変換するには

正しい漢字が表示されるまで [変換] をくり返し選んでから [確定] を選ぶ。
1つ前の変換候補を表示したいときは [前候補] を選びます。

前候補　確定　変換

カタカナに変換するには

[カタカナ] を選んでから [確定] を選ぶ。

カタカナ　確定

ひらがなに戻したいときは

カタカナへの変換を確定する前（青字で表示されているとき）に、もう一度 [カタカナ] を選ぶとひらがなになります。

小文字に変換するには

「ゃ」、「ゅ」、「ょ」などの小文字に変換するときは、文字を入力してから [小文字] を選び、[確定] を選ぶ。

文節を変換するには

長い文章を一度に変換したとき、希望通りの文節で区切られない場合があります。このような場合、文節の区切りを変更できます。
例として「今朝は医者にいきました。」と変換された文章を「今朝歯医者に行きました。」に変更してみます。

1 ひらがなで「けさはいしゃにいきました。」と入力する。

2 **[変換]** を選ぶ。
「**今朝は**医者にいきました。」が表示されます。

3 **[文節縮]** を1回選ぶ。
「**けさ**はいしゃにいきました。」が表示されます。

4 **[変換]** を選ぶ。
「**今朝**歯医者にいきました。」が表示されます。

5 **[後の文節]** を2回選ぶ。
「今朝歯医者に**いきました。**」が表示されます。

6 **[変換]** を選ぶ。
「今朝歯医者に**行きました。**」が表示されます。

－ **[前の文節]** ＝1つ前の文節に移動します。
－ **[後の文節]** ＝1つ後の文節に移動します。
－ **[文節縮]** ＝文節を短くします。
－ **[文節伸]** ＝文節を長くします。

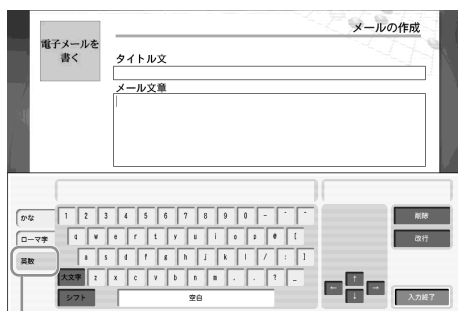
ちょっと一言

変換を確定する前（青字で表示されているとき）に、[空白]を選ぶと変換されます。

次のページにつづく

英数字を入力する

例として、英数字で「Number 1」と入力してみます。英数字はすべて半角になります。

1 **キーボード選択キーの [英数] を選ぶ。**

「英数キーボード」が表示されます。

2 **[シフト] を選ぶ。**

「大文字キーボード」が表示されます。

3 **[N] を選ぶ。**

「N」が入力され、「小文字キーボード」に戻ります。

4 **順に [u]、[m]、[b]、[e]、[r]、[空白]、[1] を選ぶ。**

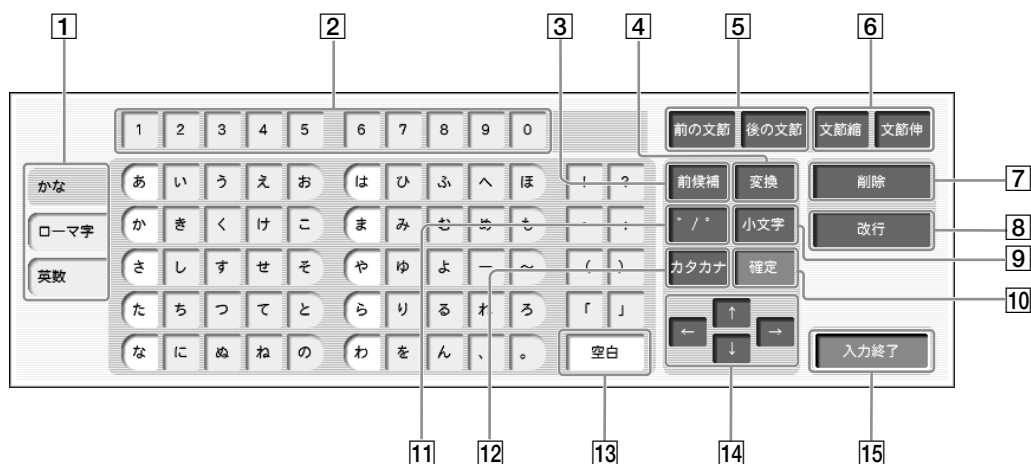
「umber 1」が入力されます。

大文字の入力について

大文字の入力のしかたには2通りあります。

- **[シフト] を選んだ場合：**一度「大文字キーボード」が表示され、1文字選んだ後は「小文字キーボード」に戻ります。単語の冒頭の大文字を入力するときに便利です。
- **[大文字] を選んだ場合：**「大文字キーボード」が表示されます。もう一度 [大文字] を選ぶと「小文字キーボード」になります。大文字を2つ以上入力するときに使います。

キーボードの各部の名称

文字入力用キーボード（かなキーボードの例）

1　**キーボード選択**
キーボードを選びます。

2　**数字ボタン**
全角の数字を入力します。

3　**前候補**（☞48ページ）
前の変換候補を表示します。

4　**変換**（☞48ページ）
入力した文字を漢字に変換します。

5　**前の文節/後の文節**（☞49ページ）
前の文節/次の文節に移動します。

6　**文節縮/文節伸**（☞49ページ）
文節を短く/長くします。

7　**削除**（☞48ページ）
「**I**」（カーソル）の前の文字を削除します。

8　**改行**
改行します。

9　**小文字**（☞49ページ）
入力した文字を「ゃ」、「ゅ」、「ょ」などの小文字に変換します。

10　**確定**
漢字に変換せずにひらがなのまま入力したり、変換した文字を確定するときに使います。

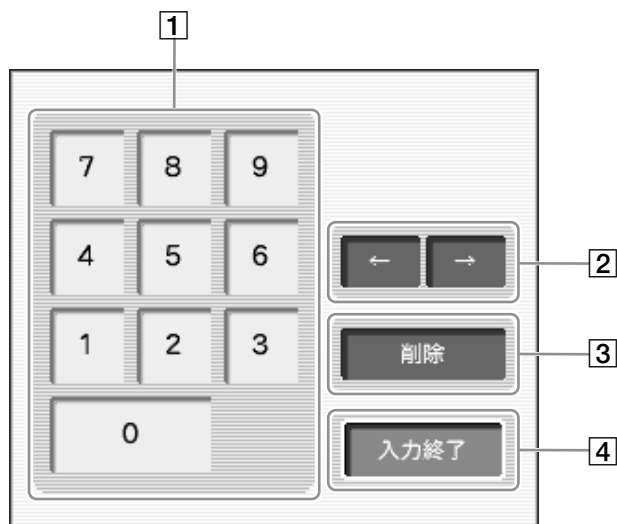
11　゛/゜（☞47ページ）
入力した文字に濁点・半濁点を付けます。

12　**カタカナ**（☞48ページ）
入力した文字をカタカナに変換します。

13　**空白**
全角スペースを挿入します。
確定前に選ぶと、入力した文字を変換します。

14　**←/→/↑/↓**
入力位置を移動したり、削除する文字を選びます。

15　**入力終了**
キーボードを消します。

数字キーボード

1　**数字ボタン**
半角の数字を入力します。

2　**←/→**
入力位置を移動したり、削除する数字を選びます。

3　**削除**
「**I**」（カーソル）の前の数字を削除します。

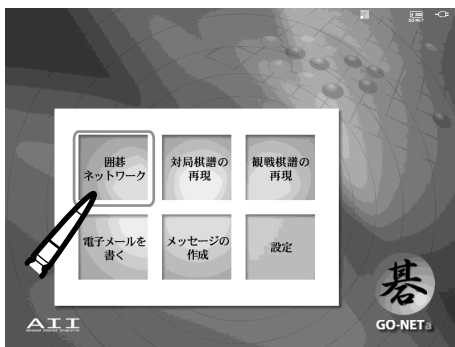
4　**入力終了**
数字キーボードを消します。

その他の楽しみかた

“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”では、実際に会員と対局をするほかに、他の人の対局を画面上で観戦したり、会員と電子メールのやりとりをするなどいろいろな楽しみかたができます。

他の人の対局を観戦する

“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”で行なわれている他の会員同士の対局を画面上で観戦できます。

1 **“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”のメニュー画面を表示する。**

2 **[囲碁ネットワーク] を選ぶ。**

タッチペンで画面上の [囲碁ネットワーク] に軽く触れます。

暗証番号入力の画面が表示されます。

3 **暗証番号を入力する。**

暗証番号を入力する。

[会員氏名] 欄にある名前を確認し、暗証番号を入力してください。

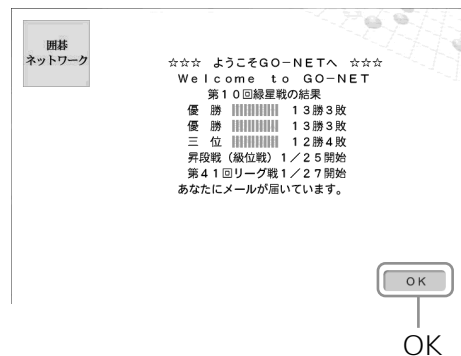
暗証番号入力欄を選ぶと、英数キーボードが表示されます。キーボードで4～16桁の暗証番号を入力します。入力できるのは、半角英数字、@、ピリオド（.）、アンダーバー（_）およびハイフン（-）です。入力した文字は秘密保持のため＊で表示されます。

4 **入力が終了したら、[OK] を選ぶ。**

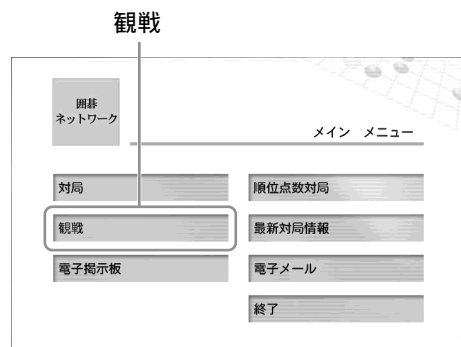
「ようこそGO-NETへ」の画面と囲碁大会のお知らせなどのニュースが表示されます。

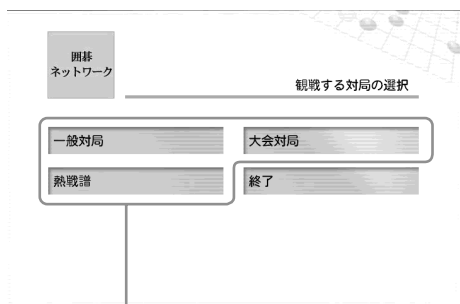
この画面が表示されたら、囲碁ネットワークにつながったことになります。

5 **[OK] を選ぶ。**

OK

「メインメニュー」が表示されます。

6 **[観戦] を選ぶ。**

観戦

「観戦する対局の選択」画面が表示されます。

7 [一般対局]、[大会対局]または[熱戦譜]を選ぶ。

対局者氏名一覧が表示されます。

8 観戦したい対局を選ぶ。

盤面選択の画面が表示されます。

9 [黒画面] または [白画面] を選ぶ。

[黒画面]を選ぶと黒番から見た画面になり、[白画面] を選ぶと白番から見た画面になります。

「観戦を開始します。」と表示されます。

10 [OK] を選ぶ。

「観戦」画面が表示されます。

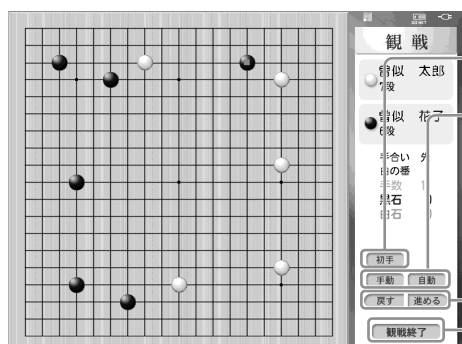
「観戦」画面が表示されると、初手から現在進行中の手番まで自動的に石が次々と置かれていきます。その後は、実際の対局をリアルタイムで観戦できます。

一手一手ゆっくり観戦したい場合は、「観戦画面の楽しみかた」（☞ 56ページ）をご覧ください。

対局が終了すると

対戦対局終了の画面が表示されます。
さらに、[OK] を選ぶと「棋譜を保存しますか？」と表示されます。[はい] を選ぶと観戦した棋譜を“ ＧＯ－ＮＥＴ ａ ”専用“ メモリースティック ”に保存できます。
「観戦メニュー」画面に戻ります。

途中で観戦をやめるには
[観戦終了] を選ぶ。
「観戦する対局の選択」画面に戻ります。

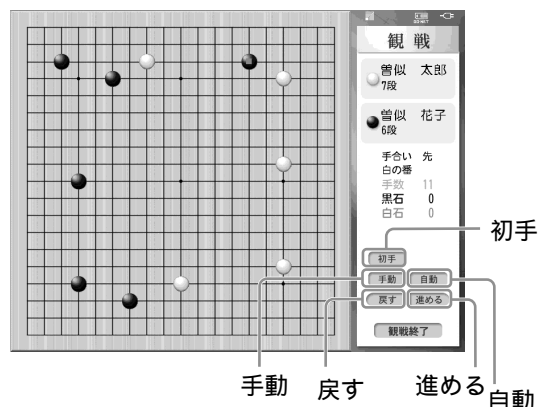
観戦画面について

[初手]：選ぶと観戦の最初の画面に戻ります。

[手動]：現在進行中の手番まで一手一手石を置いたり戻したりできます。
[自動]：現在進行中の手番まで自動的に石が置かれます。

[戻す]：[手動]モードのとき選ぶと一手逆戻りできます。
[進める]：[手動]モードのとき選ぶと一手進めることができます。

[観戦終了]：対局終了前に観戦を終了するとき選びます。

観戦画面の楽しみかた

観戦画面が初めて表示されたときは、[自動]モードに設定されており、初手から自動的に石が次々と置かれていきます。

一手一手ゆっくり観戦したいときは [手動]を選んでください。 [進める]を選ぶたびに一手づつ石が置かれます。[戻す]を選ぶと、一手づつ逆戻りします。再び自動モードにしたいときは、[自動]を選びます。
観戦中に[初手]を選ぶと、すべての石が消えて観戦画面の最初に戻ります。

観戦しながら対局相手を待つには

一般対局（☞ 30ページ）で、対局相手を待ちながら他の人の対局を観戦できます。

1 「対局メニュー」で[一般対局]を選ぶ。
「自分の棋力に合った会員と対局する（一般対局）」（☞ 30ページ）の手順1〜8を行う。
「一般対局メニュー」画面が表示されます。

2 [一般対局待ち設定]を選ぶ。

対戦相手の棋力条件を選ぶ画面が表示されます。

3 対戦したい相手を選ぶ。
棋力条件は、「一般対局メニュー」画面の条件と同じです。（☞ 31ページ）

4 [OK] を選ぶ。
「メインメニュー」画面に戻ります。

5 [観戦] を選ぶ。

6 「他の人の対局を観戦する」の手順7〜10（☞ 55ページ）を行い、観戦画面を表示させる。
対局相手が見つかると観戦画面が消え、「対戦相手の情報」画面になります。

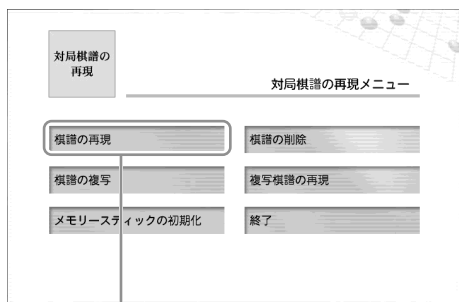
7 [OK] を選ぶ。
「対局画面」になり、対局を開始できます。

棋譜を再現する

“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”専用“メモリースティック”や複写した“メモリースティック”に保存した対局棋譜や観戦棋譜を画面に再現して見ることができます。

1 “ＧＯ－ＮＥＴ ａ”のメニュー画面から[対局棋譜の再現]または[観戦棋譜の再現]を選ぶ。

「対局棋譜の再現メニュー」または「観戦棋譜の再現メニュー」が表示されます。

2 [棋譜の再現] を選ぶ。

棋譜の再現

棋譜の一覧が表示されます。

3 再現したい棋譜を選ぶ。

盤面選択の画面が表示されます。

4 [黒画面] または[白画面] を選ぶ。

[黒画面] を選ぶと黒番から見た画面になり、[白画面]を選ぶと白番から見た画面になります。

再現画面になります。

5 [進める] を選ぶ。

選ぶたびに、1手1手、初手から順に対局が再現されます。

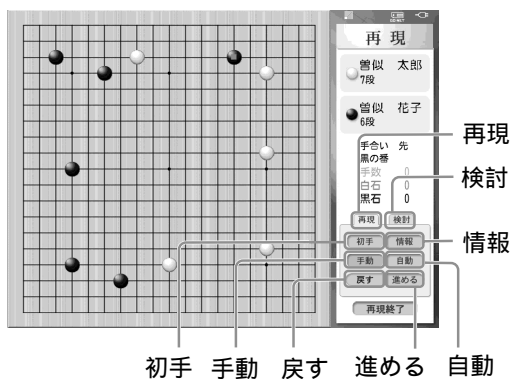
[戻す] を選ぶと、1手づつ逆戻りします。

6 再現を終了するときは、[再現終了] を選ぶ。

再現画面の楽しみかた

[手動] モードと [自動] モード

再現画面が初めて表示されたときは、[手動] モードに設定されており、[進める] または [戻す] を選ぶたびに一手一手再現されます。
[自動] を選ぶと、一定の間隔で自動的に石が置かれていきます。

初手 手動 戻す 進める 自動

[初手]：選ぶと、すべての石が消えて再現画面の最初に戻ります。

[情報]：選ぶと、この対局の対局日時と勝敗が表示されます。

対局の検討をするには

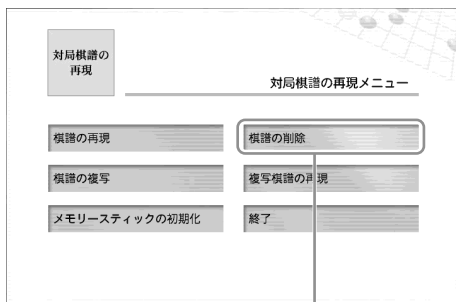
[検討] を選ぶと、再現途中で好きなところに石を置いて対局の検討ができます。
置きたい場所を選ぶたびに、白石、黒石が交互に置かれます。[戻す] を選ぶと1手づつ逆戻りできます。
[再現] を選ぶと、検討を始めた直前の状態に戻ります。

棋譜を削除する

保存した棋譜を削除できます。

1 “ＧＯ－ＮＥＴ ａ”のメニュー画面から[対局棋譜の再現]または[観戦棋譜の再現]を選ぶ。

「対局棋譜の再現メニュー」または「観戦棋譜の再現メニュー」画面が表示されます。

2 [棋譜の削除] を選ぶ。

棋譜の削除

棋譜の一覧が表示されます。

3 削除したい棋譜を選ぶ。

複数の棋譜を選ぶこともできます。

4 [削除] を選ぶ。

削除確認の画面が表示されます。

5 [はい] を選ぶ。

選んだ棋譜がすべて削除されます。

6 [OK] を選ぶ。

棋譜の一覧に戻ります。

“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”のメニュー画面に戻るには

「棋譜の削除一覧」画面で [終了] を選び、「対局（または観戦）棋譜の再現メニュー」画面で [終了] を選ぶ。

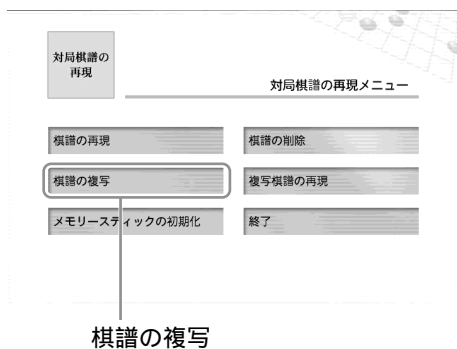
棋譜を複写する

“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”専用“メモリースティック”に保存した棋譜を別の“メモリースティック”にコピーできます。

1 「対局棋譜の再現メニュー」または「観戦棋譜の再現メニュー」画面を表示する。

“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”専用“メモリースティック”が挿入されていることを確認してください。

2 [棋譜の複写] を選ぶ。

棋譜の複写

3 “ＧＯ－ＮＥＴ ａ”専用“メモリースティック”を抜く。

4 棋譜を保存したい“メモリースティック”を入れる。

5 複写完了の画面で [はい] を選ぶ。

“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”専用“メモリースティック”に保存されているすべての棋譜が、保存先の“メモリースティック”にコピーされます。

6 [OK] を選ぶ。

「対局棋譜の再現メニュー」または「観戦棋譜の再現メニュー」画面に戻ります。

“メモリースティック”を初期化するには

ご注意

この操作を行うと、“メモリースティック”に記録されているデータはすべて消去されます。本機以外で記録したデータも消去されます。初期化する前に内容を確認してください。

1 「対局棋譜の再現メニュー」または「観戦棋譜の再現メニュー」画面を表示する。
2 “ＧＯ－ＮＥＴ ａ”専用“メモリースティック”を抜き、初期化する“メモリースティック”を挿入する。
3 [メモリースティックの初期化] を選ぶ。
初期化開始の画面が表示されます。
4 [はい] を選ぶ。
初期化中は“メモリースティック”を絶対に抜かないでください。
初期化終了の画面が表示されます。
5 [OK] を選ぶ。
「対局棋譜の再現メニュー」または「観戦棋譜の再現メニュー」画面に戻ります。

ちょっと一言

“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”専用“メモリースティック”は初期化できません。

複写棋譜を再現するには

1 「対局棋譜の再現メニュー」または「観戦棋譜の再現メニュー」画面を表示する。
2 “ＧＯ－ＮＥＴ ａ”専用“メモリースティック”を抜き、複写棋譜の入っている“メモリースティック”を挿入する。
3 [複写棋譜の再現] を選ぶ。
4 「棋譜を再現する」の手順3～6（☞ 57ページ）を行なう。
他の“メモリースティック”に保存した棋譜が再現されます。

他の会員に電子メールを送る

対局を離れて他の会員とメールのやりとりをすることができます。また、“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”センターにメールで問い合わせをしたりすることもできます。

ご注意

対局中に電子メールをやりとりすることはできません。

電子メールを書く

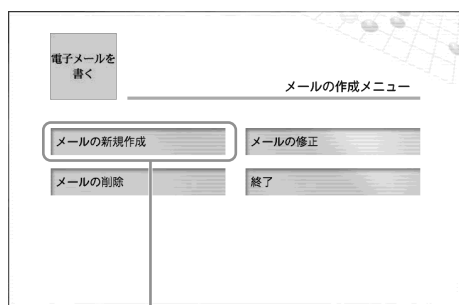
囲碁ネットワークに接続して電子メールを送信する前に、「メールの作成メニュー」でメールを作成しておきます。ここではまだネットワークに接続していません。
文字の入力について詳しくは、「文字入力」（☞ 46ページ）をご覧ください。

1 **“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”のメニュー画面を表示する。**

2 **[電子メールを書く] を選ぶ。**

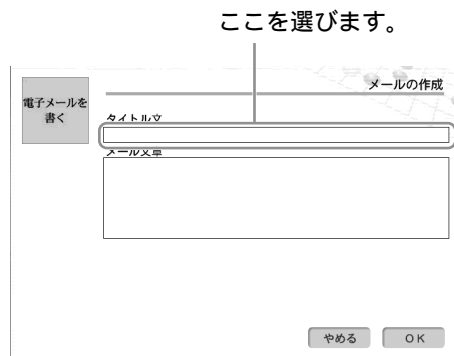
タッチペンで画面上の [電子メールを書く] に軽く触れる。

「メールの作成メニュー」画面が表示されます。

3 **[メールの新規作成] を選ぶ。**

メールの新規作成

「メールの作成」画面が表示されます。

4 **[タイトル文] の空欄を選ぶ。**

ここを選びます。

「I」（カーソル）とキーボードが表示されます。

5 **タイトル文を入力する。**

全角30字まで入力できます。

入力が終わったら、キーボードの [入力終了] を選んでキーボードを消します。

ちょっと一言

あとで電子メールを送信するとき、タイトル文リストから選んで送信しますので、タイトル文は必ず入力してください。

6 **[メール文章] の空欄を選び、キーボードで本文を入力する。**

入力が終わったら、キーボードの [入力終了] を選んでキーボードを消します。

7 **メールの作成が終了したら、[OK] を選ぶ。**

作成したメールが保存され、「メール作成メニュー」に戻ります。

ご注意

手順7で [やめる] を選ぶと、作成したメールは保存されません。

保存したメールを修正するには

1「電子メールを書く」の手順1、2を行う。
2「メールの作成メニュー」画面から [メールの修正] を選ぶ。
「メールの修正」画面に、保存されているメールのタイトル一覧が表示されます。
3 修正したいタイトルを選ぶ。
作成したタイトル文とメール文章が表示されます。
4 修正をして終了したら、[OK] を選ぶ。
修正したメールが保存され、「メールの作成メニュー」に戻ります。

保存したメールを削除するには

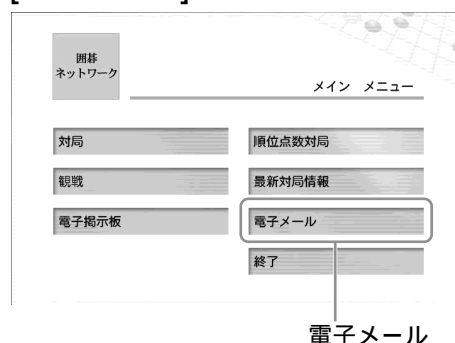
1「電子メールを書く」の手順1、2を行う。
2「メールの作成メニュー」画面から[メールの削除]を選ぶ。
「メールの削除」画面に、保存されているメールのタイトル一覧が表示されます。
3 削除したいタイトルを選ぶ。
一度に複数のタイトルを選ぶこともできます。
4 [削除]を選ぶ。
メール削除確認の画面が表示されます。
5 [はい] を選ぶ。
「メールを削除しました。」というメッセージが表示されます。
6 [OK] を選ぶ。
7 [戻る] を選ぶ。
「メールの作成メニュー」に戻ります。

電子メールを送る

相手に電子メールを送るには、「メールの作成メニュー」で作成、保存したメールを選んで送信します。

1 “ＧＯ－ＮＥＴ ａ”のメニュー画面を表示する。

2 [囲碁ネットワーク] を選ぶ。

タッチペンで画面上の [囲碁ネットワーク] に軽く触れる。
「メインメニュー」画面が表示されます。

3 [電子メール] を選ぶ。

電子メール

「電子メール」画面が表示されます。

4 [メール送信] を選ぶ。

メールを送る相手の会員番号を入力する画面が表示されます。

5 相手の会員番号を入力し、[OK] を選ぶ。

相手の会員番号を入力する。
「メールの送信」画面に、作成したメールのタイトル一覧が表示されます。

次のページにつづく

6 送信するメールのタイトルを選ぶ。

選んだタイトル文とメール文章が表示されます。

ちょっと一言

ここではメールを修正することはできません。「メールの作成メニュー」に戻り、[メールの修正] を選んで修正してください。（☞61ページ）

7 [送信] を選ぶ。

メール送信確認の画面が表示されます。

8 [はい] を選ぶ。

「メール送信中」の画面が表示され、「メールを送信しました。」というメッセージが出ます。

9 [OK] を選ぶ。

メールが送信され、「電子メール」画面に戻ります。

10 [終了] を選ぶ。

「メインメニュー」に戻ります。

メールを送信できないときは

手順8で、「メール送信中にエラーが起きました。」というメッセージが出ることがあります。この場合は、[OK]を選び、もう一度送信し直してください。

電子メールを受信する

他の会員から電子メールを受信すると、[囲碁ネットワーク] を選んだとき、「ようこそGO-NETへ」の画面（☞ 31ページ）に「あなたに電子メールが届いています。」というメッセージが表示されます。受信メール一覧で受信したメールを読むことができます。

1 “ＧＯ－ＮＥＴ ａ”のメニュー画面を表示する。

2 [囲碁ネットワーク]を選ぶ。

タッチペンで画面上の[囲碁ネットワーク]に軽く触れる。

「メインメニュー」画面が表示されます。

3 [電子メール] を選ぶ。

「電子メール」画面が表示されます。

4 [メール受信] を選ぶ。

「受信メール一覧」に受信メールのタイトル、送信者の会員番号、受信日が表示されます。

まだ読んでいないメールには、「未開封」と表示されています。

ちょっと一言

メールが1件も受信されていないときは、「未読メールはありません」と表示されます。

5 読みたいメールを選ぶ。

選んだメールの本文が表示されます。

対局の成績を見る

さらに別のメールを読む場合は[受信一覧] を選びます。「受信メール一覧」が表示されますので、読みたいメールを選んでください。
[保存] または [終了] を選ぶと「メール削除確認」画面が表示されます。保存する場合は、[いいえ]を選びます。[はい] を選ぶと削除されます。
保存したメールは、「電子メールを書く」の「メールの修正」画面で見ることができます。（☞ 61ページ）

“ＧＯ—ＮＥＴ ａ”センターで記録してあるデータから、自分の最新の対局10局の成績を画面上で見ることができます。「勝負預かり」となった対局（☞ 44ページ）の判定結果は、この画面で確認してください。
中断碁については画面上で見ることはできません。

1 **“ＧＯ—ＮＥＴ ａ”のメニュー画面を表示する。**

2 **[囲碁ネットワーク] を選ぶ。**

「メインメニュー」画面が表示されます。

3 **[最新対局情報] を選ぶ。**

最新対局情報

「最新対局情報一覧表」に最新の対局10局が表示されます。

ちょっと一言

「勝負預かり」となった対局の棋譜は画面上で見ることはできません。“ＧＯ—ＮＥＴ ａ”センターに申し込むと「棋譜プリント」が送られてきます。

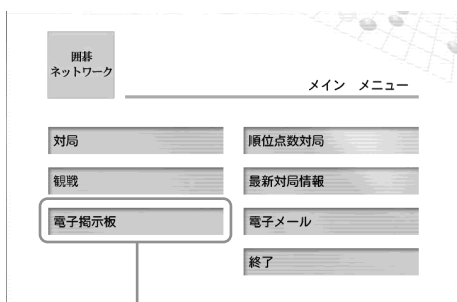
電子掲示板を見る

“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”センターからのお知らせや大会案内、会員の声などを読むことができます。

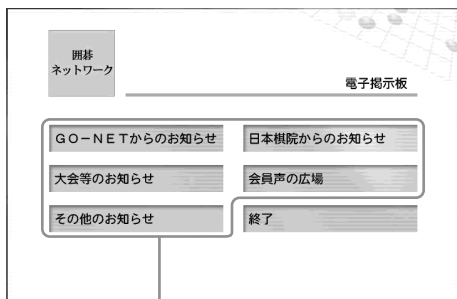
1 **“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”のメニュー画面を表示する。**

2 **[囲碁ネットワーク]を選ぶ。**

「メインメニュー」画面が表示されます。

3 **[電子掲示板]を選ぶ。**

電子掲示板

「“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”からのお知らせ」など、「電子掲示板」のタイトル一覧が表示されます。

4 **見たいタイトルを選ぶ。**

ここから選ぶ。

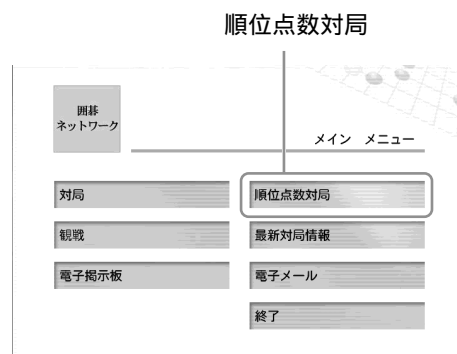
5 **見たい項目を選ぶ。**

掲示内容が表示されます。

順位点数対局とは

順位点数対局とは、段・級位とは別に勝敗によって持ち点が加減され順位を登録して行なう対局です。
順位点数対局を行なうには、別に登録が必要です。“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”センターに登録すると、順位を付けた「対局メニュー通知」が送られてきます。
登録した方のみ、以下の操作で対局ができます。

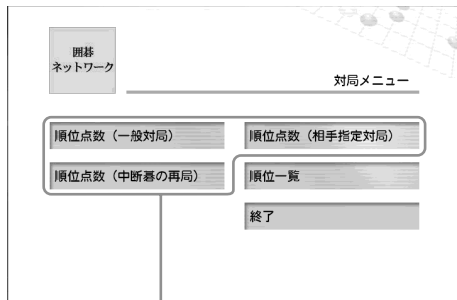
1 **“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”のメニュー画面から[囲碁ネットワーク] を立ち上げる。**

2 **「メインメニュー」画面から[順位点数対局] を選ぶ。**

順位点数対局

「あなたの現在の登録情報」が表示されます。

3 **[OK] を選ぶ。**

「対局メニュー」画面が表示されます。

4 対局の方法を選ぶ。

ここから選ぶ。

それぞれの対局方法を選んだ場合の操作は以下のページをご覧ください。

[順位点数（一般対局）] →「自分の棋力に合った会員と対局する（一般対局）」（☞ 30ページ）

[順位点数（相手指定対局）] →「相手を指定して対局する（相手指定対局）」（☞ 34ページ）

[順位点数（中断碁の再局）] →「中断した対局を再開する」（☞ 38ページ）

順位点数対局の順位を確認するには

「対局メニュー」画面から [順位一覧] を選ぶ。
「順位一覧」画面が表示されます。

メッセージを作成する

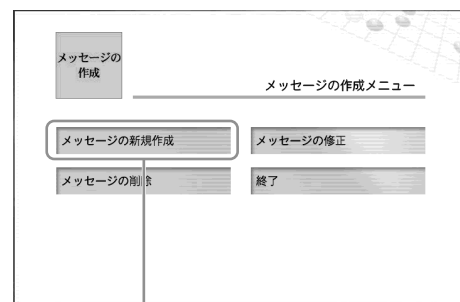
定型文はあらかじめ一覧に用意されていますが、これとは別に、対局中にやりとりするメッセージを自分で新たに作成して一覧に追加することができます。

1 “ＧＯ−ＮＥＴ ａ”のメニュー画面を表示する。

2 [メッセージ作成] を選ぶ。

タッチペンで画面上の [メッセージ作成] に軽く触れる。

「メッセージの作成メニュー」画面が表示されます。

3 [メッセージの新規作成] を選ぶ。

メッセージの新規作成

「メッセージの作成」画面が表示されます。

4 [メッセージの内容]の空欄を選ぶ。

「I」（カーソル）とキーボードが表示されます。

5 文を入力する。

全角30字（半角60字）まで入力できます。

6 入力が終了したら、[OK] を選ぶ。

作成したメッセージが定型文一覧の最後に追加され、「メッセージの作成メニュー」画面に戻ります。

ご注意

手順6で [やめる] を選ぶと、作成したメッセージは保存されません。

作成したメッセージを修正するには

1 「メッセージを作成する」の手順1、2を行う。

2 「メッセージの作成メニュー」画面から [メッセージの修正] を選ぶ。
「メッセージの修正」画面に、保存されているメッセージ一覧が表示されます。

3 修正したいメッセージを選んで修正し、[OK] を選ぶ。
修正したメッセージが保存され、「メッセージの作成メニュー」画面に戻ります。

保存したメッセージを削除するには

1 「メッセージを作成する」の手順1、2を行う。

2 「メッセージの作成メニュー」画面から [メッセージの削除] を選ぶ。
「メッセージの削除」画面に、保存されているメッセージ一覧が表示されます。

3 削除したいメッセージを選ぶ。
一度に複数のメッセージを選べます。

4 [削除] を選ぶ。
メッセージ削除確認の画面が表示されます。

5 [はい] を選ぶ。
「メッセージを削除しました」と表示されます。

6 [OK] を選ぶ。

7 [終了] を選ぶ。
「メッセージの作成メニュー」画面に戻ります。

その他

故障かな？と思ったら

正常に動作しない場合は下記の項目をもう一度チェックしてみてください。それでも具合が悪いときは、エアボードカスタマーサポートセンター（☞ 裏表紙）にご相談ください。
なお、対局の操作に関しては、“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”センター（☞ 裏表紙）にお問い合わせください。その他“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”のサービス全般についてはAII（エー・アイ・アイ）お客様相談室（☞ 裏表紙）にお問い合わせください。

囲碁ネットワーク

症状	対処のしかた
ネットワークに接続できない。	• アナログ回線に接続していませんか？アナログ回線ではご利用になれません。 •「会員情報の設定」画面で、会員番号を8桁で正しく入力しましたか？ • 会社などプロキシ設定が必要な環境ではご利用できません。 • ネットワークの設定が間違っていませんか？プロバイダからの情報に基づいて正しく設定してください。 • 圏外 表示が出ていませんか？ 圏外 表示の出ないところへ移動してください。 • ルーターは正しく設定されていますか？ルーターの設定方法については、ルーターの取扱説明書をご覧ください。必要に応じて、回線事業者などにお問い合わせください。 •「現在の接続方法」は合っていますか？（☞ 23、25ページ） **LAN回線の場合** • イーサーネットケーブルをしっかりつないでください。 • 正しいイーサーネットケーブル（ストレートケーブルまたはクロスケーブル）を使っていますか？ケーブルの種類については、接続機器の取扱説明書または回線事業者にお問い合わせください。 • ルーターやADSLモデムの設定は正しいですか？ • 同時に1つの端末しかインターネットに接続できない契約の場合、他の端末を先に接続しているときは接続できません。 **ADSLで接続している場合** • 正しいイーサネットケーブル（ストレートケーブルまたはクロスケーブル）を使っていますか？ • スプリッターのDSLポートとTEL (TELEPHONE) ポートを間違えていませんか？（☞ 11、12ページ） • 機器の取扱説明書を参照し、ADSLモデムのランプが正しく点灯していることを確認してください。
“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”のメニュー画面が表示できない。	• モニターに“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”専用“メモリースティック”をカチッと音がするまで挿入してから、モニターの電源を入れましたか？（☞ 16ページ） •“ＧＯ－ＮＥＴ ａ”専用“メモリースティック”を初期化していませんか？（☞ 28ページ） 初期化してしまった場合はAII（エー・アイ・アイ）お客様相談室へお問い合わせください。（☞ 裏表紙）
[囲碁ネットワーク] を選んで暗証番号を入力しようとしても入力できない。	•「設定メニュー」画面の[会員情報の設定]を設定しましたか？（☞ 25ページ） • 暗証番号（4〜16桁）を再度確認してください。
碁石を置いても、[相手の番] が表示されない。	2着手しましたか？1着手目では確定しません。2着手目で確定します。（☞ 36ページ）

症状	対処のしかた
対局中、相手の持ち時間が過ぎても対局画面右下の操作ボタンが選べず、何も操作できない。（相手が考え中なのか、または回線が切断されてしまったのか分からない。）	回線（通信）エラーの可能性があります。一度電源を切ってからもう一度電源を入れ、「対局メニュー」の[中断碁の再局]で対局を再開してください。（☞ 38ページ）
対局中に「回線が予期せず切断されました。」と表示され、強制的に中断した。	「対局メニュー」の[中断碁の再局]で対局を再開してください。（☞ 38ページ）
対局中、圏外 が表示されていないのに画面が固まった。	自動回線切断の設定をしたルーターなどを使っていませんか？同じ回線に接続しているパソコンなどで、自動回線切断の設定を外してください。
画面右上に 圏外 が表示され、対局が中断した。	回線（通信）エラーの可能性があります。一度電源を切ってからもう一度電源を入れ、「対局メニュー」の[中断碁の再局]で対局を再開してください。（☞ 38ページ）
対局中にメッセージを入力しているとき、キーボードの [改行] が選べない。	メッセージは全角30字しか入力できないため、改行はできません。

対局・観戦棋譜の再現

症状	対処のしかた
棋譜の複写ができない。	•“ＧＯ−ＮＥＴ ａ”専用“メモリースティック”に棋譜が保存されていますか？ • 保存先の“メモリースティック”が破損している可能性があります。

その他

症状	対処のしかた
入力欄が選べない。	キーボードが表示されていませんか？表示されている場合は、キーボードの [入力終了] を選び、一度キーボードを消してから再度入力欄を選んでください。
タッチペンまたは指で触れた場所と違うところが選ばれる。	「設定メニュー」画面の [ペン位置補正] で、再度ペン位置の補正を行なってください。（☞ 17ページ）
画面が固まってしまった。何も操作ができない。	一度電源を切ってから再度電源を入れてください。[電源] ボタンを押しても電源が切れない場合は、先の細いものでリセットスイッチを押してください。（☞ 7ページ）
“ＧＯ−ＮＥＴ ａ”専用“メモリースティック”を紛失してしまった。または誤って初期化してしまった。	AII（エー・アイ・アイ）お客様相談室にお問い合わせください。（☞ 裏表紙）
モニターのボタンを押しても何も効かない。	“ＧＯ−ＮＥＴ ａ”専用“メモリースティック”を挿入して電源を入れたときは、[インデックス]、[チャンネル＋/−]、[回線切断]、[印刷] ボタンは使えません。（☞ 7ページ）

“GO−NET a” 索引

五十音順

アルファベット順

その他

ご案内

“ＧＯ−ＮＥＴ ａ”全般に関するお問い合わせは「AII（エー・アイ・アイ）お客様相談室」へ

AII（エー・アイ・アイ）お客様相談室

●**フリーダイヤル** 0120-866-766
受付時間:午前10時〜午後6時
※水曜および木曜日は電話での受付はお休みしています。
お問い合わせの際は、メールのみの受付となります。

●**メールアドレス** .... mail@aii.co.jp

対局に関するお問い合わせは「“ＧＯ−ＮＥＴ ａ”センター」へ

“ＧＯ−ＮＥＴ ａ”センター

●**ダイヤル** 047-362-1160
●**ファックス** 047-362-1758

受付時間：月　午前9時〜午後6時
火〜金　午前9時〜午後8時
土、日、祝日　午後1時〜午後6時

本製品に関するお問い合わせは「エアボードカスタマーサポートセンター」へ

エアボード カスタマーサポートセンター

●**ナビダイヤル** 0570-05-0005
（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
●**携帯電話・PHSでのご利用は** 0191-32-2951
受付時間:月〜金　午前9時〜午後6時　（ただし、年末、年始、祝日を除く）
●**メールアドレス** .... support@airbonet.com
●**よくある質問** .... http://faq.sonydrive.jp

ケーブルモデムやADSLモデムの設定、インターネットへの接続、メールボックスの容量など、ネットワークへの接続については、ご利用の回線事業者またはプロバイダへお問い合わせください。

万一不具合が生じた場合は
製品の品質には万全を期しておりますが、万一ご使用中に動作しない、記録できないなどの故障が生じた場合は、上記の「エアボード カスタマーサポートセンター」までご連絡ください。修理に関するご案内をさせていただきます。
また修理が必要な場合は、当社指定宅配業者がお客様宅まで伺い、引取修理をさせていただきます。その際には、故障箇所にかかわらず、ベースステーションとモニターの両方をお渡しください。

“ＧＯ−ＮＥＴ ａ”のホームページ
●http://www.aii.co.jp/go-neta/

エアボードのホームページ
●http://www.sony.co.jp/airboard

ソニー株式会社　〒141-0001　**東京都品川区北品川**6-7-35

この説明書は100%古紙再生紙を使用しています。

Printed in Japan